# 道具としての英語 基礎の基礎

完結編

副島隆彦 編・著

*Traveling to The World of Mary Poppins*

本書は、1985年10月に小社より刊行した
別冊宝島49『道具としての英語　基礎の基礎』
の3·4·5章を改訂したものです
（本書は1·2章を改訂した文庫版前著に続く
完結編です。併せて愛読ください）。

**副島隆彦**
（そえじま·たかひこ）

1953年生まれ。早稲田大学法学部卒業。評論家。現在、常葉学園大学助教授。著書に『斬り捨て御免！』（洋泉社）『欠陥英和辞典の研究』（小社刊）『英語で思想を読む』『現代アメリカ政治思想の大研究』『英文法の謎を解く』『続・英文法の謎を解く』（いずれも、筑摩書房）、『属国・日本論』（五月書房）、『政治を哲学する本』（総合法令）、『小室直樹の学問と思想』（共著、弓立社）、『日本の危機の本質』（講談社）、『アメリカの秘密』（メディアワークス）、『悪の経済学』（祥伝社）、翻訳書として『リバータリアニズム入門』（デイヴィッド・ボウツ著、洋泉社）などがある。

カバーデザイン：HOLON
イラストレーション：藤川秀之
本文·目次レイアウト：S&P

# 道具としての英語
# 基礎の基礎
## 〈完結編〉

副島隆彦 編・著

宝島社
文　庫

宝島社

# 道具としての英語
# 基礎の基礎
## 〈完結編〉

# 基礎がわかれば英語はむずかしくない！

この本は、英語嫌いのために作られた、まったく新しい考え方にもとづいたテキストです。

ここでいう〝英語嫌い〟とは、根っから英語が嫌いな人のことではありません。英語を身につけようという意欲はあるのに、勉強をはじめたら英語が嫌いになった人、つまり、学校の英語の授業のせいで英語嫌いにさせられた人、そんな人のことを私たちは英語嫌いと呼んでいるのです。

というわけで、この本は、英語を勉強していて英語が嫌いにならないように気をつかって作られているのです。でも、断わっておかなくてはなりませんが、この本はラクチンをして英語が上達する本なんかではありません。英語であれなんであれ、外国語を学習するのは、苦労がつきものです。努力が必要です。ラクして英語が身につくなんて宣伝してある本があったら、そんな本はウソをついていると思って間違いないのです。

そこで、この本のことをもう少し正確にいうと、努力すればそれだけ実力が向上し、しかも英語を勉強するのが楽しくなる本。あるいは、努力が報（むく）われる本ということにな

ります。

もう少し、このテキストについて〝宣伝〟させてもらうことにしましょう。

**1** この本は，前編『道具としての英語　基礎の基礎』の完結編に当る本です。前編にひきつづき，この『完結編』をお読み下さい。

この完結編は，前編にひきつづき，英語の基礎となる事項を取り扱っています。この「基礎」という言葉は，単に「初歩」とか「簡単」という意味ではありません。この基礎を自分のものにすることで，英語のネイティブ・スピーカー（英語を母国語とする人）たちが何を考えているのか，言いたいのかが，最低限理解できます。

英文法（英語の理屈）を軽視してはいけません。「会話，会話，英会話したい」という気持ちだけではだめなのです。こういう，英会話だけを重視する人たちは，「英語国民は英文法を意識しないで英語を話すのだ」と言います。そして，英語の理屈を無視します。

しかし，私たちは日本人なのです。日本人は，日本語を話し，日本文を書くのです。このとき，日本語文法など意識しません。あたりまえです。同じように英語国民が，英文法を意識しないで英語をしゃべり，書いているのは，あたりまえです。

だからこそ，私たち，英語にとっての外国人である日本人は，最低限度の分かりやすい英文法（英語の理屈）を勉

強して，それで，英語が分かるようになるのです。私たちは日本語を愛し，日本語と共に生きながら，その上で英語と格闘しなければならないのです。私たちが英語を理解するためには，英語の基礎の基礎を身につけなければいけません。本書及び前編で，私は，このことを心がけました。

2 この本は、P.L.Traversの『メアリー・ポピンズ』をテキストにしています。しかし、『メアリー・ポピンズ』の原作ではなく、それを900語レベルのやさしい単語によって書き直したオックスフォード大学出版局版にもとづいています。したがって、テキストにはむずかしい単語はまず出てきません。しかし、高校まで6年間英語を勉強してきたとしても、この物語をきちんと読める人は非常に少ないのが現実なのです。単語はやさしいのに英語が読めないという事実、これが私たち日本人の実情なのです。

ということは、つまり、むずかしい単語とかやさしい単語とかが大きな問題なのではない。英語を学習するうえでは、単語の難易度といったこと以上に、いろいろな壁(かべ)があるのだということになります。

最大の壁はなんといっても、日本語と英語とでは、そもそもコトバのしくみが根本的に違っているのだということです。使用される文字、発音のしかたもひっくるめて、とにかく英語は、日本語とはまったくしくみの違うコトバなのです。だから、私たちは単語のスペリングや意味を一つ

一つ理解し覚えなくてはならないし、耳をならす訓練もしなくてはならない。脳ミソだけでなく、口や耳などの身体器官も動員して勉強しなくてはならないのですが、同じように、英語がどういうしくみのコトバなのかということを理解する。つまり、英語文法についても勉強していかなくてはならないのです。

3 ところが、この英語文法がなんともやっかいなもので、学校や英語検定などの試験のほとんどは、この文法の理解の度合いをためすことになっていることもあって、たいがいの人は、英語文法のせいで英語が嫌いになってしまいます。

そこで、英文法なんてものがあるからいけないのだ、あんなものをやめて勉強しよう——などと言う人も出てくるのですが、それは間違っています。そういうわけにはいかないのです。しくみが違うコトバを学ぶには、そのコトバのしくみを理解することが必要だし、それが要するに英語文法なのですから。

だから、この本でも文法について書いてあります。でも、学校の先生たちの説明とは違うところもあります。少なくとも、学校の先生の説明よりずっとわかりやすいし、納得できるはずです。試験で苦しむことも少なくなるはずです。この本に入っている〝基礎の基礎〟の英語文法はぜひマスターしてください。

この本の英語文法の説明は、日本語文法についても配慮しながら、あくまで日本人が英語を勉強するのだ、という立場からなされています。これまでに、そんな本はなかったのです。

# [この本の使い方]

この本は、別冊宝島49号『道具としての英語　基礎の基礎』を改訂した完結編です。改訂にあたって、前編で1章、2章を、この完結編では3章、4章、5章を読みやすくわかりやすいものに大幅に改訂・増補しました。前編とあわせて、生まれかわった本書をお楽しみ下さい。

❶まず、テキストページ左の英文を読む。右ページの訳文は見ないこと。辞書を引いてもよいから、自分の力で読んでみよう。必要なら各用語解説を参考にしてください。

❷おおよその意味がつかめたら、まず原文に忠実に訳してみよう。最初からなめらかな日本語訳にしようとしないこと。文法的に考えて、なぜそう訳せるのか理解できないのに、なめらかな日本語に訳そうとすると、必ず中途半端な訳、つまり、いい加減な訳（誤訳）になってしまう。

❸自分の力で原文に忠実な訳ができたら、テキストの🍎マークの訳文と見くらべてみよう。

❹自分の訳した文と マークのガチガチ訳を見くらべて、自分の誤った部分を、もう一度英文に帰って確かめてみよう。
❺なぜその英文が マークのようになるのかがわかったら、 マークの訳文を読んでみよう。この訳は原文に忠実に訳した日本文をふまえて日本語らしく訳したものだ。 マークの訳文で太い字になっているところは、かなり意訳してあるところだ。[ ]（カッコ）のなかに入っている文は、原文には書かれていない、裏に隠れている意味が補ってある。

❻さて、 マークの、日本語としてなめらかな訳になった文章を読んでみて、もう一度、自分の訳した訳文と読みくらべてみる。原文に忠実に訳した訳文がどのようにしてなめらかな日本語に訳されるかを考えてみよう。

❼とくに英文で注意が必要な部分には解説をつけてみた。英文が原文に忠実な訳からなめらかな訳になるまでのしくみが理解できるだろう。

●この本で原文に忠実な訳と日本語としてなめらかな訳を並べたのは、なめらかな訳が訳した人の気分や創作力でつくられたものではないことを、わかってほしかったからです。英語の原文に忠実にとりくむことが、英語を日本語に訳すときのもっとも重要な点であることを、くれぐれも心

にとめておいてほしい。英文を左から右にフィーリングで読んでしまうことが英文を誤って読んでしまう大きな原因にもなるのです。

## ■道具としての英語　基礎の基礎〈完結編〉　目次

5

本文イラストレーション＝藤川秀之

## Point 1

# 英文を読み解くために日本語の「て、に、を、は」を身につける

英文を日本文に訳すときいちばん大切なことは日本語の助詞「は」「が」「に」「を」「と」「で」をしっかりと訳し出すことです。私たちが学校英語で必ず習う「五文型」理論（これは、C.T.Onions(オニオンス)という学者の考えです）と私たちの日本語の助詞の用法の間に、かなり強固な関係があるからです。「五文型」の考えが教育英語の中で重要視されるのは、日本語のしくみが英語の「五文型」の考え方を採用することによって初めて英語と共通性を持つことが分かっているからです。このことは、私たちが初めに学校で習った逐語訳（直訳）の仕方の中に表われています。学校訳にも一定のルールがあったのです。そして、その学校訳（この本では原文忠実訳/ガチガチ訳と呼ぶことにしました）がしっかりできるようになることがまず、英文を読めるようになるための第一歩なのです。そしてその訓練が十分にできてから意訳（なめらかな訳）へと向かうことができるのです。この本では二つの訳を並べて見ることによって英文が日本文に置き換わる際の法則性の発見ということを主眼に置いてみました。

〈例題１〉

**I like you.**

を、私たちは普通「私はあなたが好きだ」とやりますが、正確には「私はあなたを好きだ」となるでしょう。この「を」がやがて「が」になってしまうことに大変な秘密がかくされているのです。

〈例題2〉（前編2-06-A❶）

There was no time to send you a postcard, and ask you
V O O V O

to come another time.
C

**〈原文忠実ガチガチ訳〉**

あなたにハガキを送るためのの時間とそしてあなたに別の時間に来ることを頼むための時間がなかった。

**〈情景把握なめらか訳〉**

君にハガキを出して別の日に来てくれるようにと連絡する時間がなかったのだよ。

二つの訳を対比する前に、私たちは、まずどうしても原文忠実訳の方を正確に訳し出せるようにならなければなりません。この努力を抜きにして英語が「できる」ようになることはありえないと思うのです。外国で少年期を過したという特別な体験を持った人でなければ、「日本語という壁」を通り抜けるということはできないでしょう。しかしそういう子供たちは、今度は逆に日本語の方がおかしくなっているようです。つまり、**bilingual**（バイリンガル、二カ国語を自由に使える人）や **polyglot**（ポリグロット、

多国語を自由にできる人）というのはありえないのではないか、とこのごろ私は疑っています。

現在、日本人の同時通訳者として活躍している人々は、ほとんどが、私たちと同じようなふつうの生活環境から出てきて、人の何倍もの努力と苦労をして英語（外国語）を勉強した人たちなのです。

まずこの国ではとにかく英語の勉強は試験勉強として存在しているのだという悲しい現実を直視し引き受ける正直さから始めるしかないのです。

〈例題３〉（本書3-01-A❺）

Could they call for me in the office today?
　　　S　V

I want them to take me out for tea.
S　V　　O

It would be very nice for me.
S　　　V　　　C

この例文は文法的にもかなり複雑な構造をしています。皆さんが細かい点までしっかりと理解しているかどうかを検査するのが日本の英語勉強の大きな目標になっているのです。例えば **want them to take me** という箇所をサラリと意訳すると大変な誤まりを犯すことになるということに気づいてください。

| 原文忠実訳 | なめらかな訳 |
| --- | --- |
| 彼らは今日、事務所に私に立ち寄れますか。 | 子供たちを今日私の会社に寄こしてくれないかな。 |
| 私は彼らに私をお茶のために外に連れ出すことを望む。 | 子供たちが私をお茶にさそうようにしてほしいんだ。 |
| それは私にとって非常によいことでしょう。 | その方が私にはいいのだ。 |

ここでは、二つの訳文（訳は他にも何通りもありえますが）の中の主要な助詞がどう変換したかということを明確にするために両者を線で結んでみました。この相互関連の強さにナルホドと思っていただければ、この本の目的の8割は達成されたのだと私は考えています。

さらに念のために言うと皆さんが「意訳してもいいのですか？」と先生に質問して「やっぱりだめです。きちんと逐(ちく)語訳しなさい」と言われた経験があるとすれば、それは、逐語訳には逐語訳なりの秀れた面があるからです。それは、その逐語訳文からふたたび英語の原文がほぼ再生されるという点があるからです。そして、この本でも決してなめらかな意訳だけが必ずしも良いのではないということはつねに心に留めて置いてください。いい加減な意訳がどんなに危険かということがわかるようになったとき初めて皆さんは、母国語と外国語の異なった世界に橋を架けることができるのです。

# 3

# The Bird Woman
## 鳥おばさん

**セント・ポール聖堂の広場にいつもいる**

**鳥おばさんの鳥たちとの物語**

❶'Perhaps she won't be there,' said Michael.

❷'Yes, she will,' said Jane.

❸'She's always there.'

❹They were walking up Ludgate Hill on the way to pay a visit to Mr. Banks in the City.

3-01-B「ガチガチ訳」

❶「たぶん，彼女はあそこにいないだろう」とマイケルは言った。

❷「いいえ，彼女はいるでしょう」とジェインが言った。

❸「彼女はいつもあそこにいる」

❹彼らは，シティにいるバンクス氏を訪ねるためにラッドゲイト丘を歩いて登っている途中だった。

3-01-C「なめらか訳」

❶「たぶん，いないんじゃないかな」とマイケルが言いました。

❷「いるわよ」とジェインは答えました。

❸「あの人はいつもいるのよ」

❹二人は，ラッドゲイト・ヒルの通りを登って，シティにいるバンクスさんを訪ねてゆくところでした。

3-01-A

❺That morning Mr. Banks said at breakfast to Mrs. Banks, 'My dear, could Jane and Michael call for me in the office today?

...'My dear, could Jane and Michael call for me

前書のポイント①(p.17)でも解説してある箇所だ。もういちど読みかえして下さい。

この三行の言い方の中に，英会話の勉強で最も大切な三つの文型が全て含まれています。即ち，人間の会話は１「〜してくれませんか」と，２「〜してもよいですか」と，３「〜してほしい」という言い方の三つからできているのです。従って，皆さんが本当に英語で何かを質問したかったらこの三つの型の文章のうちのどれを使うか，に注目すればよいのです。

❻I want them to take me out for tea. It would be very nice for me, and I need something nice.'

3-01-B「ガチガチ訳」

❺あの朝，バンクス氏は朝食でバンクス夫人に言った。「私の親愛なる人，今日，ジェインとマイケルは事務所に私を訪ねることができたか？

❻私は彼らに，お茶のために私を外に連れ出すことをしてほしい。それは，私にとっては，非常によいことだろう，そして私は何かよいことを必要としている」

3-01-C「なめらか訳」

❺その日の朝，バンクスさんは，朝食のおりに，バンクス夫人に言ったのです。「ねぇ，ジェインとマイケルを，今日，私の会社に**よこすように**してくれないかな。

❻二人をお茶に**連れて行こう**と思ってね。そうすると私の気分もいいだろうし，私にも何か気分のいいことがいるんだよ」

❼ Mrs. Banks did not say 'Yes', but she did not say 'No'.

3-01-B「ガチガチ訳」

❼バンクス夫人は「はい」と言わなかった。しかし「いいえ」と言わなかった。

3-01-C「なめらか訳」

❼バンクス夫人は「ええ」とは言わなかったのですが，かといって，「だめです」とも言いませんでした。

3-02-A

❶ All day Jane and Michael watched her.

❷ They said softly to each other, 'Will she remember?

They said softly....

softlyは「やさしく」ではなく，「そっと」。日本語になっている「ソフト」とは大きくズレるので注意。

Will she remember?

この場合，rememberは「思い出す」ではなく「覚えている」。

3-02-B「ガチガチ訳」

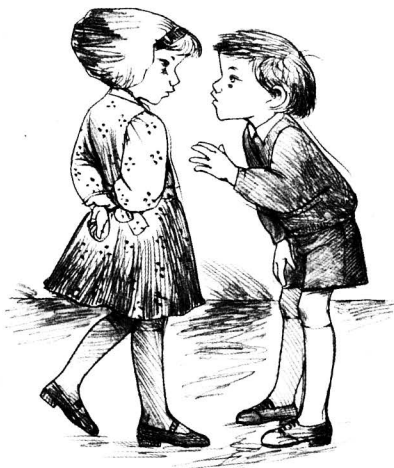
❶一日中，ジェインとマイケルは彼女を見た。

❷彼らは，お互いにやさしく言った。「彼女は思い出すだろうか？

3-02-C「なめらか訳」

❶その日ずっと，ジェインとマイケルは**お母さん**を見つめていました。

❷二人はそっと言い合いました。「お母さん，おぼえているかな。

3-02-A

❸ Will she say "Yes" ?' but Mrs. Banks said nothing about tea in the City.

❹ She spoke about a new coat for Michael and about a lost address.

❺ But then she suddenly said, 'Now, children, get your things on.

Now, children, get your things on.

　children というような呼びかけも，日本ではあまりしない。自分の子供たちに対して「子供たち」と言うのはおかしい。ここは「あなたたち」ぐらいの言い方。

3-02-B「ガチガチ訳」

❸彼女は“はい”と言うだろうか？」しかし，バンクス夫人は，シティでのお茶のことについては何も言わなかった。

❹彼女は，マイケルのための新しいコート，そしてなくしたアドレス帳について話した。

❺しかしそれから彼女は突然，言った。「今，子供たち，あなたたちのものを取れ。

3-02-C「なめらか訳」

❸［行っても］『いいわ』って言うかな？」でもバンクス夫人はシティでのお茶のことは何も言わないのでした。

❹夫人はマイケルの新しいコートのことやわからなくなった［誰かの］住所のことを話していました。

❺でも，しばらくして急に言ったのです。「さあ，あなたたち，仕たくをしなさい。

3-02-A

❻You're going to have tea with your father in the City.

❼Have you forgotten?'

❽The children could never forget, because tea meant also the Bird Woman—she was the thing they liked best.

3-02-B「ガチガチ訳」

❻あなたたちはシティであなたたちのお父さんとお茶を飲みに行くだろう。

❼あなたたちは忘れたか？」

❽子供たちは決して忘れることはできなかった。なぜならばお茶は，鳥おばさんをも意味した——彼女は，彼らがいっとう好きなことだった。

3-02-C「なめらか訳」

❻シティでお父さんとお茶をいただきに行くんでしょ。

❼忘れてたの？」

❽子供たちは忘れてしまうはずはありません。なぜって，お茶［に行くということ］は，また鳥おばさん［に会いに行くということ］を意味したのですから——彼女は二人がいちばん好きな人なのです。

3-03-A

❶ So now they were walking up Ludgate Hill, with Mary Poppins between them.

With Mary Poppins between them.
「彼らの間のメアリー・ポピンズといっしょに」とは「メアリー・ポピンズを二人の間にして」→「メアリー・ポピンズをはさんで」ということ。

❷ She was wearing a new hat with red flowers on it, and she looked into all the shop windows to see herself.

3-03-B「ガチガチ訳」

❶だから，いま彼らはラドゲイト丘を，彼らの間のメアリー・ポピンズといっしょに，登っていた。

❷彼女はその上に赤い花がついた新しい帽子をかぶっていた。そして，彼女は，自分自身を見るためにすべての店の窓ガラスをのぞきこんだ。

3-03-C「なめらか訳」

❶というわけで，二人は，ラッドゲイト・ヒルに向かって，メアリー・ポピンズを間にして，歩いていたのでした。

❷メアリーは，赤い花飾りのついた新しい帽子をかぶっていて，[自分の姿を見るために] 店の窓という窓をみんなのぞき込んで行きました。

3-03-A

❸At last they came to St. Paul's Cathedral and Michael cried out in excitement, 'There she is!'

At last they came to St. Paul's Cathedral
「ついに彼らはセント・ポール聖堂に来た」。「ついに」というのは，
つまりメアリー・ポピンズが店の窓に自分の姿をいちいち映して
ながめていたので，なかなか前に進まなかったから。

❹'Don't point,' said Mary Poppins sharply.

❺'She's saying it, she's saying it!' cried Jane.

3-03-B「ガチガチ訳」

❸最後に，彼らはセント・ポール大聖堂に来た。そしてマイケルが興奮で叫んだ。「あそこに，彼女が！」

❹「指さすな」とメアリー・ポピンズが鋭く言った。

❺「彼女がそれを言ってる，彼女がそれを言ってる！」ジェインが叫んだ。

3-03-C「なめらか訳」

❸ついに三人がセント・ポール聖堂のところに着く**と**，マイケルが**興奮気味**に叫びました。「あそこにあの人がいる！」

❹「[人を] 指さしちゃいけません」とメアリー・ポピンズが鋭く言いました。

❺「あの人言ってるわ，あの人言ってるわ！」とジェインが叫びました。

❻ Because the Bird Woman always said the same thing—'Feed the Birds, Tuppence a Bag!

❼ Feed the Birds,Tuppence a Bag! Feed the Birds, Feed the Birds, Tuppence a Bag! Tuppence a Bag!'

❽ She said, or sang, these words again and again.

❾ And she held out little bags of breadcrumbs to the people in the street.

3-03-B「ガチガチ訳」

❻なぜならば，鳥おばさんは，いつでも同じことを言った。——「鳥にエサを，一袋につき2ペンス！

❼鳥にエサを，一袋につき2ペンス！　鳥にエサを，鳥にエサを，一袋につき2ペンス，一袋につき2ペンス！」

❽彼女は言った。あるいは歌った。これらの言葉をふたたび，そしてふたたび。

❾そして彼女はパンくずの小さな袋を通りの中で人々に出した。

3-03-C「なめらか訳」

❻というのは，鳥おばさんはいつも同じことを言っているのです－「鳥さんたちに餌をあげとくれ，一袋2ペンス！

❼鳥さんたちに餌をあげとくれ，一袋2ペンス！　鳥さんたちに餌をあげとくれ，一袋2ペンス！」

❽鳥おばさんはこの文句を繰り返し言っていました。いや歌っていました。

❾**そうしながら**，鳥おばさんは，パンくずの入った小さな袋を通りを行く人々に差し出していたのです。

3-01-D

### 日本語の「はい」「いいえ」の語感は英語のそれとはかなり違う

**'Yes, she will,'**（3-01-A❷）

このYesは，前の否定疑問への答え，前の否定を否定するYes。つまり「彼女いないんじゃない？」に対して，「いる」と答えるためのYes。この例からもわかるように，日本語の「はい」も「いいえ」もどちらもこういう場合，置きにくい。ふつう「いいえ，いるわ」と英語と逆になる，あるいはするんだ，と言われているが，むしろ，どちらもどうも置きにくい。こうした場合，Yesはあえて訳さず，Yes, she will beで「いるわ」とか「いるわよ」として，語尾の強調でYesの代用をさせてしまうというのはどんなものかね。

### 許可をもとめるcanをcouldに置き換え，遠慮を含んだ表現にする

**My dear, could Jane and Michael call for me in the office today?**（3-01-A❺）

正確には「ジェインとマイケルは，今日会社に私を訪ねてもいいだろうか？」という意味で，バンクス夫人に許可を求めている言い方。原則として許可のcanでいいのだが，couldでやわらげて，遠慮を加味している表現。こういう文章は，誰が誰に向かって尋ねているのかがつかめないとチンプンカンプンになるおそれがある。前後の文脈をしっ

かりおさえておこう。ここは許可を求める言い方から，依頼の表現に移してしまった方が，文意がはっきりするので，「ジェインとマイケルを会社によこすようにしてくれないか」と一応遠慮気味の依頼にしてはどうかな。

**I want them to take me out for tea.**（3-01-A❻）

これも正確にやると「私は彼らにお茶に連れ出してもらいたい」となるところ。つまりI want（hope）that they take me out for teaの意味。しかし，実際には彼らが訪ねてくれれば，彼らをお茶に連れて行くという名目で，バンクスさんが外へ出られるから，彼らをよこして欲しいと言っているわけなので，「二人をお茶に連れて行こうと思ってね」ぐらいまで意訳してもかまわないだろう。

**'It would be very nice for me, and I need something nice.'**（3-01-A❻）

このitは，子供たちが会社にきて，それを名目に外へ出る，お茶に出かけるといった一連の行為を含んだもの。それは，very nice「とても気分のいい」こと。そして何か気分のいいことが必要だ……。

## 3-02-D

### watch，look，see
### 同じ「見る」でも使い方が違う

**All day Jane and Michael watched her.**（3-02-A❶）

Watchは「見守る，見張る」。「テレビを見る」はwatch TV，「映画を見る」はsee the movie，「写真を見る」は

look at the picture, と同じ「見る」でも使い分けられる。大ざっぱに言うと，映画は大きな画面で動きがあって「見える」という感じを含むsee, 動かない写真や絵は見る方の目を動かすlook, 小さい映像の動くTVは「見守る，観察する」watchというところか。herはMrs. Bunks, つまりジェインとマイケルの「お母さん」。彼らの「お母さん」がバンクス夫人と呼ばれていて，「お母さん」とは出てこない点は，日本人の家族の呼び方とちょっとズレる。

## cannotにふくみをもたせた言い方がcould neverだ

**The children could never forget, because……** (3-02-A❽)

could neverはcannot「〜のはずがない」を少しふくみを持たせつつ強調する表現。「忘れてしまうはずはない」。という意味だ。

**tea meant also the Bird Woman,** (3-02-A❽)

teaは「お茶を飲みに行くこと」をさしていることに注意。alsoはたんに「お茶を飲むということ」だけでなく「鳥おばさんに会うこと」をも，meant意味している。

## She was the thingのthe thingは彼女をとりまくものごとを指す

**She was the thing they liked best.** (3-02-A❽)

これはShe was the thing which they liked best. だからShe was what they liked best. でもいい。いずれにしてもShe was the person whom they liked best. とはちがっている点に注意。彼女は彼らの大のお気に入りの「こと」。

彼女は，人であるだけではなく，彼女をめぐるものごとにおいて，彼らの大のお気に入りだ，という意味。あるいは，彼女は，彼らの最も気に入っている「出来事」だ，としてもいい。

3-03-D

## ヨソゆきの格好をしたメアリーの女の子らしさを読みとろう

**So now they were walking up Ludgate Hill, with Mary Poppins between them.** (3-03-A ❶)

ここでまた，この章の冒頭の部分にもどる。ここまでは，なぜ彼らがいまラドゲイト・ヒルを歩いていることになったか，の説明だったわけ。with Mary Poppins between them.「メアリー・ポピンズを二人の間にして，メアリー・ポピンズをはさんで」。

3-04-A

## ❶ All round her flew the birds.

All round her flew the birds.

The birds flew all round her. をひっくり返した形。all round で「まわり中いっぱいに」の感じ。群れているわけだ。

## ❷ They rose and fell in the air round the cathedral.

3-04-B「ガチガチ訳」

❶彼女のすべてのまわりを鳥たちが飛んだ。

❷彼らは大聖堂のまわりを空気中を，上がりそして降りた。

3-04-C「なめらか訳」

❶鳥たちはおばさんのまわり中を飛んでいました。

❷鳥たちは，聖堂のまわりを空高くのぼったり，低く降りたりしていました。

❸ Mary Poppins always called them 'sparrows' because, she said, all birds were sparrows to her.

She said, all birds were sparrows to her.

She said は「彼女に言わせると」とか「彼女の言うには」あるいは「彼女によれば」だ。「彼女に言わせれば，すべての鳥は彼女にとってすずめなのだ」から，彼女は鳥を見ると「すずめ」といつも呼ぶ，というわけ。

❹ But Jane and Michael knew that they were not sparrows, but doves and pigeons.

3-04-B「ガチガチ訳」

❸メアリー・ポピンズはいつでも彼らを，「すずめ」と呼んだ。なぜならば，彼女は言った，彼女にとってすべての鳥は「すずめ」だった。

❹しかし，ジェインとマイケルは，彼らがすずめではなくて，ダブ（鳩）とピジョン（鳩）であることを知った。

3-04-C「なめらか訳」

❸メアリー・ポピンズはいつもその鳥たちを「すずめ」と呼んだのですが，それというのも，彼女の言うには，すべての鳥は自分にとっては「すずめ」だったからです。

❹でも，ジェインとマイケルは，その鳥たちがすずめではなくて，小鳩や大鳩だと知っていました。

❺ There were talking grey doves, like grand-mothers; there were brown rough-voiced pigeons like uncles; there were green 'I've no money today' pigeons like fathers; and soft blue doves like mothers.

❻ That was what Jane and Michael thought.

3-04-B「ガチガチ訳」

❺おばあさんたちのように話している灰色鳩たちがいた。おじさんたちのような茶色の荒い声の鳩たちがいた。お父さんたちのような緑色の「私は今日は，お金を持っていない」鳩たちもいた。そして，お母さんたちのようなやさしい青い鳩もいた。

❻あれがジェインとマイケルが考えたことだった。

3-04-C「なめらか訳」

❺おばあさんのようにおしゃべりしている灰色の鳩がいました。叔父さんのような茶色のガラガラ声をした鳩がいました。「今日はお金はないよ」［と言っているような］お父さんのような緑色の鳩がいました。そして，お母さんのようなやさしい青い鳩もいました。

❻**そんな風に**ジェインとマイケルは思い描いていました。

❼ The birds flew round the head of the Bird Woman when the children came near.

❽ Then they all suddenly flew up, through the air, and sat on the top of St. Paul's.

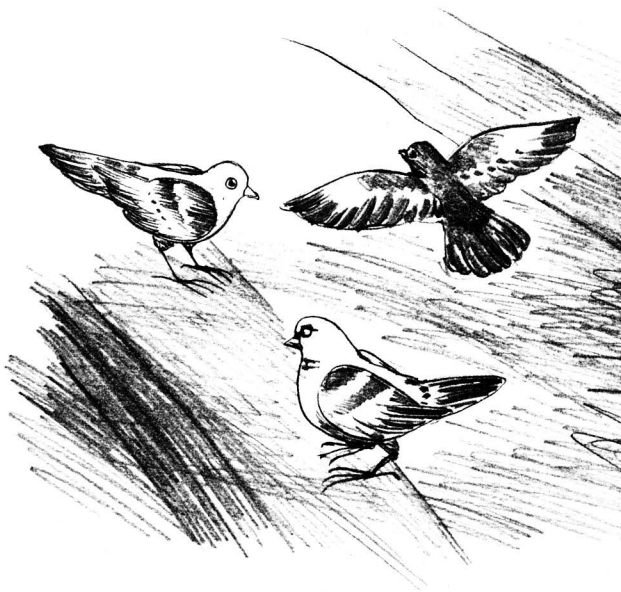
3-04-B「ガチガチ訳」

❼鳥たちは，子供たちが近くに寄るときには，鳥おばさんの頭の上をまわって，飛んだ。

❽それから，彼らは突然，飛び上がり，空中を通って，そしてセント・ポールズのてっぺんにとまった。

3-04-C「なめらか訳」

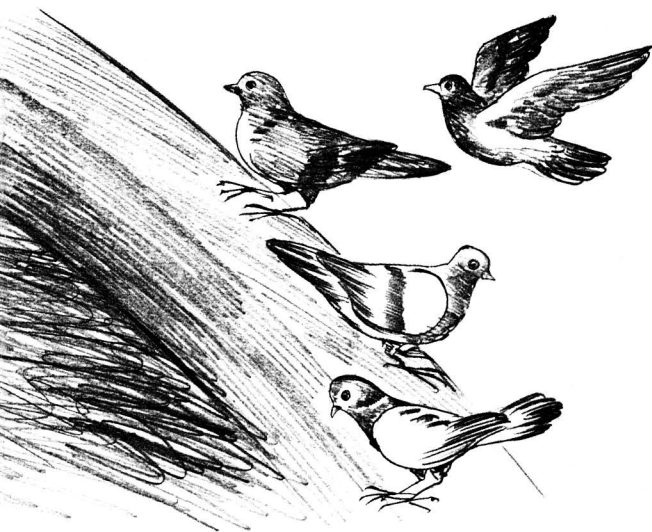
❼❽鳥たちは鳥おばさんの頭の上を飛びまわって**いました**。子供たちが近づいて行く**と**，鳥たちは突然空へ舞い上がり，セント・ポールの屋根に**とまり**ました。

❾ There they sat and laughed and turned their heads from side to side.

3-04-B「ガチガチ訳」

❾彼らは，そこで彼らはとまって，そして笑った。そして彼らは側から側へ彼らの頭の上を，ターンした。

3-04-C「なめらか訳」

❾**そこにとまって**鳥たちは笑って［いるように鳴いて］は首をあちこちにまわしていました。

3-05-A

❶It was Michael's day to buy a bag of bread-crumbs.

❷He walked up to the Woman and held out his hand.

He walked up to the Woman and held out.

up toで「〜まで」の意味を持たせているが，このupは比喩的な使い方。到達地点を高い場所に見立ててupとするわけ。順番が決められているところから見ても，鳥おばさんに近づくのは，子供たちにとって，ちょっと厳粛な行為だろう。

3-05-B「ガチガチ訳」

❶それは，パンくずの袋を買うためのマイケルの日だった。

❷彼はその女の方へ歩いてそして，彼の手を差し出した。

3-05-C「なめらか訳」

❶その日は，パンくず袋を買うのは，マイケルの番でした。

❷マイケルはおばさんのところに歩み寄って，手を差し出しました。

❸'*Feed* the Birds, Tuppence a Bag!' said the Bird Woman.

❹She put a bag of crumbs into his hand, and put his money away in a pocket under her long black skirt.

❺'Why don't you have penny bags?' asked Michael.

3-05-B「ガチガチ訳」

❸「鳥にエサを，一袋につき2ペンス！」と鳥おばさんは言った。

❹彼女は，彼の手の中にパンくずの一袋を置いた。そして，彼のお金を彼女の長く黒いスカートの下のポケットの中に取り去った。

❺「どうしてあなたは，1ペンスの袋を持っていないのか？」マイケルがたずねた。

3-05-C「なめらか訳」

❸「鳥たちに餌をやっとくれ，一袋2ペンス！」と鳥おばさんが言いました。

❹おばさんはパンくず袋をマイケルの手にわたし，それからマイケルのお金を取って，長い黒スカートの下のポケットに入れました。

❺「どうして1ペンス袋はないの？」とマイケルはたずねました。

## ❻‘Then I could have two.’

Then I could have two.

　このhaveはbuyの代用。もちろんgetでもいい。「そしたら二袋買えるのに！」の意味。このcouldは仮定法で，「仮定に対する結果の想像」と説明される用法。「のに」「なんだけどな」としてよく使う言い回し。

## ❼‘Feed the Birds, *Tuppence* a Bag!’ said the Bird Woman.

Feed the Birds, Tuppence a Bag!

「2ペンス」に力を込めて言い返したのだ。鳥おばさんは，いつもこう言っていて，しかもそれしか言わないのだ。

## ❽She never said anything more, and she never answered any questions.

3-05-B「ガチガチ訳」

❻「そのときは，私は二つ持つことができた」

❼「エサを鳥に，一袋につき2ペンス！」鳥おばさんは言った。

❽彼女は決して，何もより多くは言わなかった。そして，彼女は決してどんな質問にも答えなかった。

3-05-C「なめらか訳」

❻「そうしたらぼく二つ買えるのに」

❼「鳥たちに餌をやっとくれ，一袋2ペンス！」と鳥おばさんは言いました。

❽鳥おばさんはそれ以上何も言わず，どんな質問にもぜんぜん答えないのでした。

3-05-A

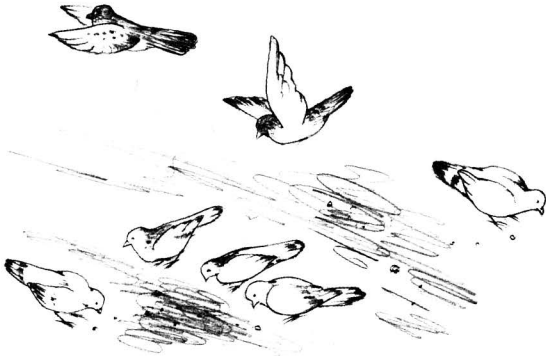
❾Mary Poppins put the breadcrumbs on the ground and one by one the birds came down from St. Paul's to eat them.

3-05-B「ガチガチ訳」

❾メアリー・ポピンズはそのパンくずを地面に置いた。そしてひとつひとつが，鳥たちが，それらを食べるためにセント・ポールから降りて来た。

3-05-C「なめらか訳」

❾メアリー・ポピンズがパンくずを地面に置くと，鳥たちが次々にセント・ポールから降りて来てそれを食べました。

3-06-A

❶ One pigeon picked up a crumb, and then dropped it.

❷ Mary Poppins sniffed at him.

Mary Poppins sniffed at him.

　せっかくのパンくずを落としてしまったドジな鳩に，メアリー・ポピンズが注意している。ドジな鳩がなぜ him なのか。まあ，これは習慣でそうなんだとしか言うしかない。

3-06-B「ガチガチ訳」

❶ひとつの鳩は，ひとつのパンくずをつまみ上げた，そして，それからそれを落とした。

❷メアリー・ポピンズは彼に鼻をすすった。

3-06-C「なめらか訳」

❶一羽の鳩がひとかけらのパンくずをくわえてから，それを落としてしまいました。

❷メアリー・ポピンズはその鳥に鼻を鳴らしました。

## ❸ But the others all pushed round the bread and picked up every crumb.

the others all pushed round the bread and picked up every crumb.

「他の鳥たちがいっせいにつけ込んできて，パンくずを残らず取ってしまった」。正確には「パンに押し寄せて，そのパンくずのすべてをついばんでしまった」だが，日本語だとちょっとくどい。

## ❹ Then they all rose into the air together and flew round the Bird Woman's head.

3-06-B「ガチガチ訳」

❸しかし，他の者たちは全部そのパンのまわりに押してそして，すべてのくずをつまみ上げた。

❹それから彼らは，みんな，全部いっしょに空中に上がり，そして鳥おばさんの頭を飛びまわった。

3-06-C「なめらか訳」

❸けれども，ほかの鳥たちがそのパンくずに群がって，残らず取ってしまったのです。

❹それから，鳥たちはいっしょに空へのぼり，鳥おばさんの頭の上を飛びまわりました。

3-06-A

❺ One of them sat on her hat and looked at it.

❻ Then it flew on to Mary Poppins' hat and pulled out one of the red flowers on it.

3-06-B「ガチガチ訳」

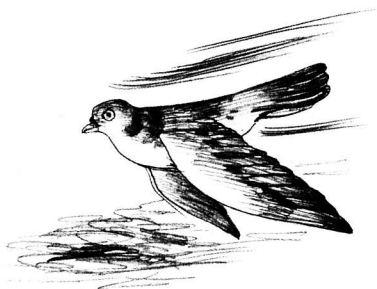
❺彼らの一羽が彼女の帽子の上にとまり，そしてそれを見た。

❻それからそれはメアリー・ポピンズの帽子に飛んで行き，そしてその上の赤い花の中の一本をひき抜いた。

3-06-C「なめらか訳」

❺そのうちの一羽がおばさんの帽子にとまって，その帽子を見ていました。

❻それからその鳥はメアリー・ポピンズの帽子に飛んで来て，赤い花飾りのひとつをひき抜いてしまいました。

3-04-D

## thatはitと同様
## 漠然としたものを指し示す

**That was what Jane and Michael thought.** (3-04-A❻)

鳩を，おばあさんやらおじいさんにたとえて描写したのは，ジェインとマイケルの想像のなかでのことだった，ということ。whatはもうわかりましたね。関係代名詞。ここのThat wasは，It wasと換えてもよい。thought like thatと後にまわしても，かまわない。

**The birds flew round the head of the Bird Woman.** (3-04-A❼)

（鳥たちは鳥おばさんの頭の上を飛び回っていました）

このflew round 「頭の上を（鳥たちは）飛び回っていました」のfly 「飛ぶ，飛ぶように～する」について説明しましょう。…(a) roundは前置詞ですから，このflyは自動詞です。「飛ぶ」のflyの例文としては，Time flies. 「時間は飛ぶように過ぎる→光陰矢の如し」がありますよね。

ところが，実はflyには自動詞だけではなく，他動詞の「飛ばす，飛行機で～を運ぶ」の使い方もあるのです。たとえば，

Boeing flies you.「ボーイング社があなたを飛行機で運ぶ」

となるのです。奇妙な感じのする英文ですね。これは，S＋V＋Oの第三文型です。このflyは，名詞として「ハエ」と，なることもあります。

なお，私たち日本人は，lとrの区別が，致命的にできません。余計紛らわしくなりそうですが，flyではなくfryという別のスペルの単語があります。このfryはエビフライやフライパンの「フライ」です。こちらのfryは，動詞としては「油で揚げる，いためる」の意味です。名詞の時は「揚げ物，いため物」という意味です。

**…turned their heads from side to side.**（3-04-A❾）

頭をあちこちに向けている，キョロキョロ見回している，という様子。

## 3-05-D

### it～to～の構文のitは漠然として状況をさすitだ

**It was Michael's day to buy a bag……**（3-05-A❶）

to buy……は形容詞用法の不定詞。「エサ袋を買うべきマイケルの日」ということだが，It was his turn to buy……「彼の番だった」という意味。It was Michael's turn to buy a bag……today, とやればいいところ。It wasにひかれてしまったのか，turn「順番」のところにdayが繰り込まれてしまった形。というのは，このitはit～to～の構文のto以下を代行して前に出ているitではなくて，もう何度も出てきている漠然とその場の状況をさすitだからだ。つまり「今度は」とか「次は」といった意味のitなので，it's fine dayという文章と非常によく似ている。そこでこの場合，dayがturnに入れかわってしまう，ということが

起こったのだろう。

3-06-D

### 鳥がメアリー・ポピンズの帽子の花飾りに狙いをつけた

**One of them sat on her hat and looked at it.**
(3-06-A❺)

そのうちの一羽が，おばさんの帽子にとまり，「その帽子を見ていた」。it は her hat。この帽子には，どうやら飾りがないらしく，この鳥はけなげにもひとつ飾りをつけてやろうと，メアリー・ポピンズの帽子の花飾りに狙いをつけた。

3-07-A

❶'You sparrow!' said Mary Poppins, very angry, and shook her umbrella at the bird.

You sparrow!
「このすずめどもが！」といった感じ。直接，目の前にいる相手に悪口を言う時など，このYouで勢いをつける。

❷The pigeon was angry too, and it stuck the red flower into the Bird Woman's hat.

3-07-B「ガチガチ訳」

❶「あなた，すずめ！」とメアリー・ポピンズは言い，たいへんな怒りで，そしてその鳥に彼女の傘を振った。

❷その鳩もまた怒った。そして，それはその赤い花を鳥おばさんの帽子の中につけた。

3-07-C「なめらか訳」

❶「このすずめったら！」とメアリー・ポピンズはとても怒って言い**ながら**，傘をその鳥めがけて振りました。

❷鳩の方も怒って，赤い花飾りを鳥おばさんの帽子に刺しました。

3-07-A

❸Then he laughed at Mary Poppins and turned his back on her.

...turned his back on her.

His back は「その鳥の背」。なぜ his なのか。それは習慣でそうなのだと言うしかない。

❹'Time to go,' said Mary Poppins coldly, and Michael said good-bye to the Bird Woman.

❺'Feed the Birds,' she said, and smiled at him.

3-07-B「ガチガチ訳」

❸それから彼はメアリー・ポピンズを笑いそして，彼女に背を向けターンした。

❹「行くための時間だ」とメアリー・ポピンズが冷たく言った。そしてマイケルはその鳥おばさんにさよならを言った。

❺「鳥にエサを」彼女は言った。そして彼に微笑んだ。

3-07-C「なめらか訳」

❸それからその鳥は，メアリー・ポピンズを笑った**かと思うと**，お尻を彼女に向けました。

❹「時間だわ，行きましょう」とメアリー・ポピンズが冷たく言うと，マイケルが鳥おばさんにさよならを言いました。

❺「鳥たちに餌をやっとくれ」とおばさんは言って，マイケルに微笑みかけました。

❻‘Good-bye,’ said Jane.

❼‘Tuppence a Bag,’ said the Bird Woman, and waved her hand.

3-07-B「ガチガチ訳」

❻「さよなら」とジェインが言った。

❼「一袋につき2ペンス」鳥おばさんが言った。そして，彼女の手を振った。

3-07-C「なめらか訳」

❻「さよなら」とジェインが言いました。

❼「一袋2ペンス」と鳥おばさんは言って，ジェインに手を振りました。

3-08-A

❶They left her and walked away, one on either side of Mary Poppins.

walked away, one on either side of Mary Poppins.

わかりにくい表現だが，walked awayの主語の中にメアリー・ポピンズが入っているので，そのあとを，with one of the children on either side of Mary Poppins.と考えればよい。

❷'What happens when everybody goes away?' asked Michael.

3-08-B「ガチガチ訳」

❶彼らは彼女を去って，そしてメアリー・ポピンズのどちらかの側に一人ずつで，歩き去った。

❷「すべての人が行ってしまうとき，何が起きるか？」とマイケルがたずねた。

3-08-C「なめらか訳」

❶三人はおばさんのところを離れて，メアリー・ポピンズの両側に寄りそうようにして一人ずつ，歩いて行きました。

❷「みんな帰っちゃったらどうなるの？」とマイケルはたずねました。

❸ He knew the answer, of course, but it was Jane's story, and he liked to hear it, and to help her to tell it.

❹'At night when everybody goes to bed...' began Jane.

❺'And the stars come out,' said Michael.

3-08-B「ガチガチ訳」

❸彼はもちろん答えを知った。しかしそれは彼女の話だった。そして彼はそれを聞くために好きだった。そしてそれを彼女に言わせるために，手伝うために好んだ。

❹「夜に，すべての人が寝るときに……」とジェインがはじめた。

❺「そして星たちが現れた」マイケルが言った。

3-08-C「なめらか訳」

❸マイケルはもちろん答えを知っていました。でもその答えはジェインの［話してくれた］お話で，しかもマイケルはその話を聞くのが好きだったから，彼女に話をさせたかったのです。

❹「夜になって，みんなが寝［に帰る］ると……」とジェインははじめました。

❺「そしてお星様が出てくるんだね」とマイケルが言いました。

❻‘Yes, then all the birds come down from the top of St. Paul’s and run carefully all over the ground here.

❼ They pick up all the forgotten crumbs and make it all clean.

...make it all clean.

このitは「このあたり」という感じ。the placeというより，鳥たちが駆け回っている「あたり」，あるいは「回り」と，漠然とした広がりを示す。

❽ Then they fly three times round the head of the Bird Woman.’

3-08-B「ガチガチ訳」

❻「はい，それから，すべての鳥たちが，セント・ポールのてっぺんから降りて来た，そしてここで地面の上のすべてを注意深く走る。

❼彼らは忘れられたすべてのくずをつまみ上げ，それをすべてきれいにする。

❽それから彼らは，鳥おばさんの頭を三回，まわって飛ぶ」

3-08-C「なめらか訳」

❻「そうよ，それから鳥たちがみんなセント・ポールの屋根から降りて来て，あたりの地面の上をそこらじゅう注意深く駆けまわるのよ。

❼忘れられてたパンくずを全部取って，まわりじゅうきれいにするの。

❽それから鳥おばさんの頭の上を三回飛びまわるのよ」

3-09-A

❶'Do they sit on her hat?'

❷'Yes, and on her basket with the bags in it.

❸ And some sit on her knees.

❹ Then she touches the head of each one and tells them to be good.'

....tells them to be good.

them が to be good の意味上の主語になる。つまり, tells that they should be good.「鳥たちにいい子にしていなさいと言った」ということ。

**3-09-B「ガチガチ訳」**

❶「彼らは彼女の帽子の上にとまるか？」

❷「はい。それが入っているバッグといっしょに彼女のバスケットの上に。

❸そしていくつかがひざの上にすわる。

❹そして，彼女はそれぞれの頭に触れる。そして，良くなれと彼らにつげる」

**3-09-C「なめらか訳」**

❶「おばさんの帽子にとまるの？」

❷「ええ，それから袋を入れることになっているかごの上にもね。

❸そしてひざの上にもとまるわ。

❹そうするとおばさんが一羽ずつ頭をなでて，いい子にしていなさいって言うの」

❺'In the bird language?'

❻'Yes. And when they're sleepy and don't want to stay awake any longer, the birds go to bed under her long skirt.

❼They sleep there till morning.'

3-09-B「ガチガチ訳」

❺「鳥の言葉で？」

❻「はい，そして，彼らが寝ているときそしてよりながく眼をさましている状態でいることを欲さなかったとき，鳥たちは彼女の長いスカートの下のベッドに行く。

❼彼らは朝までそこで寝る」

3-09-C「なめらか訳」

❺「鳥の言葉で言うの？」

❻「そうよ。そして鳥たちは眠くなって，もう起きているのがいやになったら，おばさんの長いスカートの下で寝るのよ。

❼そこで朝まで眠るんだわ」

❽ Michael was happy.

❾ He loved the story and was never tired of it.

❿ 'And it's all true, isn't it?' he said.

⓫ He always asked that question after the story.

3-09-B「ガチガチ訳」

❽マイケルは幸福だった。

❾彼はその物語を愛していた。そして，それにあきることがけっしてなかった。

❿「そして，それはすべて正しいね」彼は言った。

⓫彼はいつもその物語の後であの質問をたずねた。

3-09-C「なめらか訳」

❽マイケルはいい気持ちでした。

❾そのお話が大好きだったし，全然あきなかったのです。

❿「それでそれ本当だよね？」とマイケルは言いました。

⓫いつもこのお話のあとにはそうたずねるのでした。

3-09-A

⑫'No,' said Mary Poppins.

⑬ She always said 'No.' 'Yes.' said Jane.

She always said 'No'

なぜメアリーが「ノー」と言ったのか。メアリーには，子供たちの幼稚で感傷的な作り話が我慢できなかったのでしょう。メアリーは鳥おばさんたちのような貧しい人達の生活をよく知っていたからでしょう。

⑭ Jane knew better than Mary Poppins this time.

3-09-B「ガチガチ訳」

⓬「いいえ」とメアリー・ポピンズが言った。

⓭彼女はいつも「いいえ」と言った。「はい」とジェインが言った。

⓮ジェインはこの時にはメアリー・ポピンズよりよく知っていた。

3-09-C「なめらか訳」

⓬「いいえ」とメアリー・ポピンズは言いました。

⓭彼女はいつも「いいえ」と言ったのです。「ちがいないわ」とジェインは言いました。

⓮ジェインはこの時ばかりはメアリー・ポピンズよりよく知っていたのです。

## 3-07-D

### 英語を直訳しただけでは<br>日本語としては舌たらずになる

**'Time to go'**（3-07-A❹）

これはIt is time to go. 先ほどのIt's Michael's day to buyと同じ仕組み。
「行くべき時」。ほんとうは形容詞用法の不定詞だが，この場合には「時間がきたから，行きましょう」とした方がいいだろう。「行く時間ですよ」というのはどうも舌たらずだから。

## 3-08-D

### 英語のコトバが指し示す<br>関係をきちんと整理しよう

**They left her and walked away, one on either side of Mary Poppins.**（3-08-A❶）

left「離れて」，walk away「歩き去る」。one on either side「一人が片方の側を」と，ややこしい言い方をしているが，要はメアリー・ポピンズをはさむようにして歩き去った。英語の場合，言葉の方向や主語との関係がしっかり働くので，こういう表現が変にややこしくなってしまう。

### help～to～は
### 「～を促して～させる」だ

**He knew the answer, of course, but it was Jane's story, and he liked to hear it, and to help her to tell it.**
(3-08-A❸)

「もちろん答えを知っていた」でひとまず切ることにしよう。but it was Jane's story, itはthe answerで，「ジェインのお話」だ。he liked to hear it, and to help her to tell it.「彼はその話を聞くのが好きで」あるいは「その話が聞きたくて」,「その話をするように彼女を促したかった」。help～to～「～を促して～させる」「～するよう促す」。to tellの意味上の主語がherにある形。to helpはlikeの目的語になっているので，目的語が二つ続いて，不定詞がついているかっこうになっている。「彼女に話をするように促すことが好きだった」つまり，「彼女に話をさせたかった」。

3-09-D

### 文章の前後が入れかわっても
### 代名詞はそのまま使われる

**when they're sleepy and don't want to stay awake any longer, the birds go to bed under her long skirt.**
(3-09-A❻)

たとえ本来のあとの文の方が前に出ていても，そこにtheyという代名詞が使われ，前の文の方ではthe birdsと

名詞を使う，のが英語の文章の規則だから，覚えておこう。日本語の方では，まずはじめに主題にあたるものを出して，あとはいちいち主語にあたるものを入れなくてもかまわない。「鳥たちは眠くなって，もう起きているのがいやになったら，おばさんの長いスカートの下で寝る」。

# 4
# Full Moon
## 満月

小さな動物、大きな猛獣が輪になって踊る、

月夜の動物園……

その満月の夜は

メアリー・ポピンズの誕生日だった——

一年に一回の、“みんなは同じ”日

4-01-A

❶ That day Mary Poppins was in a hurry.

❷ When she was in a hurry she was always a little angry.

❸ Jane and Michael kept out of her way.

Jane and Michael kept out of her way.

　keep out of one's way で「人の通り道からどいている」「邪魔しない」。逆に be in one's way で「邪魔する」。

4-01-B「ガチガチ訳」

❶あの日メアリー・ポピンズは急いでいた。

❷彼女は急いでいたときはいつでも少し怒っていた。

❸ジェインとマイケルは彼女の道の外を守った。

4-01-C「なめらか訳」

❶その日メアリー・ポピンズは気がせいていました。

❷彼女が急いでいる時には，いつもちょっと怒りっぽくなりました。

❸ジェインとマイケルは**じゃまをしない**ようにしています。

❹They went behind one of the big chairs in the nursery to count their money.

❺'I haven't got much,' said Michael sadly.

❻'Then give it to the poor,' sniffed Mary Poppins.

Then give it to the poor.

the poor 定冠詞＋形容詞で人間の集団を表わす名詞として働く形。「貧しい人々」。itは当然「お金」のこと。

4-01-B「ガチガチ訳」

❹彼らは彼らのお金をかぞえるために子供部屋で大きなイスの一つの後ろに行った。

❺「私はたくさんは持っていない」マイケルが悲しく言った。

❻「それから、それを貧しい人々にあげろ」とメアリー・ポピンズが鼻をすすった。

4-01-C「なめらか訳」

❹二人は子供部屋の大きな椅子の一つの後ろに**隠れて**，お金をかぞえました。

❺「あんまりたまってないな」とマイケルは悲しそうに言いました。

❻「だったら貧しい人たちにおあげなさい」とメアリー・ポピンズは鼻をうごかし［て言い］ました。

❼'No, I want to buy an elephant—like the one at the Zoo,' said Michael.

❽'Then I could take you for a ride.' Mary Poppins listened, but she didn't say anything.

❾'What happens in the Zoo at night, when everyone goes home?' Michael went on.

4-01-B「ガチガチ訳」

❼「いいえ。私は象を買いたい。動物園のその一つのような」とマイケルが言った。

❽「それから，私はそれにあなたを乗せることのために」メアリー・ポピンズは聞いた。しかし彼女はなにも言わなかった。

❾「夜にすべての人が家に帰るときに動物園で何が起きるか？」マイケルは続けた。

4-01-C「なめらか訳」

❼「やだ，ぼくは象を買うんだもん——動物園にいるあの大きいのみたいなの」とマイケルは言いました。

❽「そしたらあなたもその背中に乗せて**あげる**よ」メアリー・ポピンズは聞いていましたが，何も言いませんでした。

❾「夜になると動物園はどうなるの，みんな家に帰っちゃったら？」とマイケルは［質問を］続けました。

⑩'Do you know, Mary Poppins?'

⑪Mary Poppins was cleaning the nursery and only said, 'One more question from you, and straight to bed you go.'

⑫'Don't ask her questions,' said Jane.

4-01-B「ガチガチ訳」

❿「あなたは知るか？ メアリー・ポピンズ」

⓫メアリー・ポピンズは子供部屋をそうじしつづけていた。そして，ただ言った。「あなたから一つの質問がある。すると，あなたはベッドにまっすぐ行く」

⓬「彼女に質問をしてはいけない」ジェインが言った。

4-01-C「なめらか訳」

❿「知ってるでしょう，メアリー・ポピンズ？」

⓫メアリー・ポピンズは子供部屋をそうじしていました。そして，こう言っただけでした。「もう一つ質問したら，あなたはベッドに直行ですよ」

⓬「メアリーに［うるさく］聞いたりしないのよ」とジェインが言いました。

⑬'She knows everything, but she never tells.'

⑭That night Mary Poppins put them to bed very quickly, and blew the light out quickly too.

⑮Then she went away as fast as the wind.

4-01-B「ガチガチ訳」

⑬「彼女はすべてのことを知る。しかし彼女はけっして言わない」

⑭あの夜，メアリー・ポピンズは彼らを非常に急いでベッドに置いた。そして、あかりもまた急いで吹き消した。

⑮それから彼女は風と同じ速さで行ってしまった。

4-01-C「なめらか訳」

⑬「なんでも知ってるのよ。でも全然話してくれないんだから」

⑭その夜，メアリー・ポピンズは子供たちをすばやくベッドに寝かしつけ，あかりもすばやく消してしまいました。

⑮それから風のような速さで出かけて行きました。

⑯ But some time after that the children heard a voice in their sleep.

⑰ It said, 'Hurry, Jane and Michael!

⑱ Put some clothes on, and hurry! Come along, be quick!'

4-01-B「ガチガチ訳」

⑯しかし，あれからすこしの時間の後に，子供たちは彼らの眠りの中でひとつの声を聞いた。

⑰それは言った。「急げ。ジェインとマイケル！

⑱いくつかの服をつけろ，急げ、添ってこい，急いで！」

4-01-C「なめらか訳」

⑯ところが，**それからしばらくして，子供たちは寝入っている自分たち［の耳もとで］声がするのが聞こえました。**

⑰**その声は［何を言っているのか］と言うと，**「急いで，ジェインとマイケル！

⑱何か着て，さあ急いで！　こっちへ早く！」

4-02-A

❶They jumped out of bed and tried to find their clothes.

❷'I've only got shoes and a hat,' said Michael.

❸'I can only find a coat of John's.' said Jane, but the voice said, 'Put them on.

4-02-B「ガチガチ訳」

❶彼らはベッドから飛び出した。そして彼らの服をさがすために試みた。

❷「私はただ靴と帽子を手にいれた」マイケルが言った。

❸「私はジョンのコートを見つけることができただけだ」ジェインが言った。しかしその声は言った。「それらをつけろ。

4-02-C「なめらか訳」

❶二人はベッドから飛び出して，着るものをさがしました。

❷「靴と帽子しかないや」とマイケルが言いました。

❸「ジョンのコートしか見つからないわ」とジェインが言います。でも，あの声はつづいています。「それでいいから着て。

❹ It isn't cold. Come on.'

❺ They followed the voice, down the stairs and out across the garden into Cherry Tree Road.

❻ They couldn't see anybody, but they ran after the voice, up and down streets, and across the Park until they stopped at a large gate in a wall.

**4-02-B「ガチガチ訳」**

❹それは寒くはない。こい」

❺彼らは声の後についていって，階をおりた。そして外に出て庭を横ぎり桜の木通りに入っていった。

❻彼らはどんな人も見ることができなかった。しかし，彼らはその声の後を走った。道を上がり，下がり，そして，公園を横ぎり、彼らが壁の中の一つの大きな門でとまるまで。

**4-02-C「なめらか訳」**

❹寒くはないよ。さあ来なさい」

❺二人は声に従って，階段を降り，庭を横ぎって桜の木通りに出ました。

❻二人**には**誰も見えなかったのですが，声のあとを走って，［幾つもの］通りをのぼり降りし，公園を横ぎって行き，壁に**かこまれた**大きな門**の前**でとまりました。

4-02-A

❼'Look,' said Jane.

❽'Do you see, Michael?

❾ We've at the Zoo !'

❿ A very bright, round moon was shining in the sky and by its light Michael saw the Zoo gate.

4-02-B「ガチガチ訳」

❼「見ろ」ジェインが言った。

❽「あなたは見えるか？マイケル。

❾私たちは動物園にいる！」

❿非常に明るい丸い月が空にかがやいていた。そして，その光によって，マイケルは動物園の門を見た。

4-02-C「なめらか訳」

❼「ほら」とジェインが言いました。

❽「見える，マイケル？

❾私たち動物園に来てるのよ！」

❿とても明るい，まん丸の月が空にかがやき，そのあかりでマイケルにも動物園の門が見えました。

4-02-A

⓫'But how shall we get in?  he asked.

⓬'We've no money.'

⓭That's all right,' said a deep voice from inside.

a deep voice

このdeepを普通の「深い」という意味で訳すと「深い声」となって，日本語としては変だ。そこで、「奥行きのある」「厚みのある」「低くたれこめている」というような味のある日本語がすぐに連想される。そこでここではdeep voiceを「太く通る声」とした。

**4-02-B「ガチガチ訳」**

⓫「しかし、私たちはどのようにして中に入るのか」彼は聞いた。

⓬「私たちはお金を持っていない」

⓭「あれはすべて正しい」内側からひとつの深い声が言った。

**4-02-C「なめらか訳」**

⓫「でも，どうやって中に入るの？」とマイケルがたずねました。

⓬「お金を持ってないよ」

⓭「だいじょうぶ」と太く通る声が［門の］中から言いました。

4-02-A

⓮'Tonight's for Special Visitors.

⓯Push the gate and come in!' Jane and Michael were through the gate in a second.

⓰'Here's your ticket,' said the deep voice. It came from a very big Brown Bear.

Here's your ticket.

「さあ君たちの切符だよ」だが、このhere isは実際に相手に切符を渡している動作に呼応している。つまり、手渡しながら言っているということが、here'sでわかるわけだ。

4-02-B「ガチガチ訳」

⓮「今夜は特別のお客様のためのものです。

⓯門を押して入ってこい！」ジェインとマイケルは一秒間の間に門を通った。

⓰「ここにあなたたちの券がある」その深い声が言った。それは一匹の非常に大きなヒグマからきた。

4-02-C「なめらか訳」

⓮「今夜は特別招待客のため［の夜］だから。

⓯門を押して，入っておいで！」ジェインとマイケルはさっと門をくぐり抜けました。

⓰「さあ君たちの切符だよ」と太く通る声が言いました。その声はとても大きなヒグマから聞こえてきました。

⑰ He was wearing a coat with silver buttons and a cap.

⑱ He held out two tickets to them.

4-02-B「ガチガチ訳」

⓱彼は銀色のボタンがついたコートと帽子を身につけていた。

⓲彼は彼らに2枚の券をさしだした。

4-02-C「なめらか訳」

⓱ヒグマは銀のボタンのついたコートと帽子をつけていました。

⓲そのヒグマが二人に切符を渡したのです。

❶ Michael said to him, 'I remember you.

❷ I once gave you a tin of sweets.'

4-03-B「ガチガチ訳」

❶マイケルが彼に言った。「私はあなたをおぼえている。

❷私は以前あなたに一つのアメのカンをあたえた」

4-03-C「なめらか訳」

❶マイケルはヒグマに言いました。「ぼく，君をおぼえてる。

❷昔，君にカン入りのアメをあげたことがあるでしょう」

❸'You did,' said the Bear.

You did,

　以前、カン入りのアメをあげたというマイケルの言葉を「君はそうした」と肯定しているところなので、「ああそうだったね」としていいだろう。

❹'And you forgot to take the top off the tin.

❺It took me ten days to get it off.

❻So be more careful next time.'

4-03-B「ガチガチ訳」

❸「あなたはそうした」熊が言った。

❹「そしてあなたはそのカンの頭を取り去るのを忘れた。

❺それを取り去るために，それは私に10日間をかけた。

❻そこで次の時はもっと気をつけろ」

4-03-C「なめらか訳」

❸「**ああそうだったね**」と熊は言いました。

❹「でも君はカンのフタを取るのを忘れてた。

❺それを開けるのに10日もかかったよ。

❻だから，次の時にはもっと注意しておくれ」

❼'But why aren't you in your cage?

❽ Are you always out at night?' asked Michael.

❾'No, only when it's the Birthday *and* a Full Moon,' said the Bear, and he turned again to the gate.

❿ Jane and Michael walked on into the Zoo.

4-03-B「ガチガチ訳」

❼「しかし，なぜあなたはあなたのオリの中にいないのか。

❽あなたは夜にはいつも外にいるのか」マイケルがたずねた。

❾「いいえ。その誕生日のときとひとつの満月のときだけだ」と熊は言った。そして後はその門の方にもう一度まわった。

❿ジェインとマイケルは動物園の中に歩きつづけて行った。

4-03-C「なめらか訳」

❼「だけど**どうして**君はオリの中にいないの？

❽夜はいつも出てるのかい？」とマイケルはたずねました。

❾「いいや，誕生日と満月が**重なった**時だけだよ」と言いながら，もういちど，熊は門の方へ向きました。

❿ジェインとマイケルは動物園の中にどんどん入って行きました。

⓫ They could see everything very easily in the light of the full moon.

⓬ Animals and birds, large and small, were running along the paths.

⓭ Most of them were talking together.

⓮ Jane heard the words 'Full Moon' and 'Birthday'.

4-03-B「ガチガチ訳」

⓫彼らは満月の明りのなかですべてのものを非常にかんたんに見ることができた。

⓬動物たちと鳥たち，大きいのと小さいのが小道に添って走っていた。

⓭彼らの多くはおたがいに話していた。

⓮ジェインは“満月”と“誕生日”という単語を聞いた。

4-03-C「なめらか訳」

⓫二人には，満月のあかりの**ために**，何でもとてもよく見えました。

⓬動物たちや鳥たち，大きいのや小さいのが道を**往き来して**いました。

⓭多くのものがたがいに話し合っていました。

⓮ジェインには“満月”と“誕生日”という言葉が聞こえました。

4-03-A

⑮'Whose Birthday is it, do you think?' asked Michael, but Jane did not answer.

⑯ She was looking at something very funny.

⑰ A very fat old gentleman was walking up and down with his hands and feet on the ground.

gentleman was walking up and down with his hands and feet....

このup and downは「行ったり来たり」の意味。with... は「手足を地面につけて」、つまり「四つんばい」になっている。

4-03-B「ガチガチ訳」

⑮「それはだれの誕生日か，あなたは思うか？」マイケルが聞いた。しかし，ジェインは答えなかった。

⑯彼女は非常におかしな何かを見ていた。

⑰非常に太った年とった紳士は地面の上に彼の両手と両足をつきながら上に下に歩いていた。

4-03-C「なめらか訳」

⑮「誰の誕生日だと思う？」とマイケルがたずねましたが，ジェインは答えませんでした。

⑯彼女は何かとても奇妙なものに見入っていたのです。

⑰一人のとても太った老紳士が，地面に四つんばいになって行ったり来たりしていました。[しかも]

4-03-A

⑱ Four Monkeys were riding on his back.

⑲ 'But this is all upside-down!' cried Jane.

⑳ The old gentleman gave her an angry look, and the Monkeys laughed at her.

㉑ 'Upside-down! Upside-down! Of course it's not!'

4-03-B「ガチガチ訳」

⑱四匹のサルが彼の背中の上に乗っていた。

⑲「しかし，これはすべて逆(さか)さまだ！」ジェインが叫んだ。

⑳年とった紳士は彼女に怒った目つきをあたえた。そしてサルたちは彼女を笑った。

㉑「さかさま！　さかさま！もちろんそれはちがう！」

4-03-C「なめらか訳」

⑱四匹のサルがその背に乗っていたのです。

⑲「でも，これじゃ，みんなあべこべだわ！」とジェインが叫びました。

⑳老紳士はジェインに立腹した目を向け，サルたちは彼女を嘲笑いました。

㉑「あべこべ！　あべこべ！　いいや，そうじゃない！」

4-04-A

❶Jane was sorry, and said politely, 'Usually animals carry people, and here you are carrying animals—that's all.'

❷But the old gentleman hurried away, still angry, and the Monkeys' voices went higher and higher in laughter.

4-04-B「ガチガチ訳」

❶ジェインは悲しかった。そしてていねいに言った。「ふつうは動物たちは人間を運ぶ。そしてここではあなたたちが動物たちを運んでいる。あれが全部だ」

❷しかし，年とった紳士は急いで去った。まだ怒っていた。そしてサルたちの声が笑いの中に高く高くいった。

4-04-C「なめらか訳」

❶ジェインは恐縮して，礼儀正しく言いました。「ふつうは，動物が人間を運ぶのに，ここではあなたが動物たちを運んでいるんですね――そういうことなんです［言いたかったのは］」

❷けれども老紳士は，怒ったまま，急いで立ち去ってゆき，サルの笑い声はますます高くなってゆきました。

❸ Suddenly a voice from the ground near their feet cried out to them, ‘Come on, you two.

❹ In you come. Let’s see you in the water.’

In you come.

これはYou come in. のinを前に出して強調した言い方。

「中に入ってこいよ」

❺ This angry voice came from a small black Seal.

4-04-B「ガチガチ訳」

❸突然，彼らの足の近くの地面からひとつの声が彼らに叫んだ。「こい，あなたたち二人。

❹入ってこい。水の中を見なさい」

❺この怒った声は一匹の小さな黒いアザラシからきた。

4-04-C「なめらか訳」

❸突然，二人の足元の地面から声が呼びかけてきました。「こいよ，君たち。

❹こっちへこいよ。水の中で会おうじゃないか」

❺この恐そうな声は小さな黒アザラシのものでした。

❻ His head stuck out of some deep water.

❼ 'Come on, now—and see if you like it.' he said.

❽ 'But—but, we can't swim,' said Michael.

4-04-B「ガチガチ訳」

❻彼の頭がいくつかの深い水からつきだした。

❼「こい，今，そしてもしあなたがそれを好きなら見ろ」彼が言った。

❽「しかし，しかし，私たちはおよげない」マイケルが言った。

4-04-C「なめらか訳」

❻その頭がちょっと深い水の中から押し出てきました。

❼「こいよ，さあ——きっとお気に召しますよ」とアザラシは言いました。

❽「でも——でも，ぼくたち泳げないよ」とマイケルが言いました。

4-04-A

## ❾ That doesn't matter. We can't help that !'said the Seal.

That doesn't matter.

　matterは「ものごと」「問題」。
「そんなの問題じゃない」ということで、ここの文脈では「だから何だっていうんだ」みたいなタンカだ。

We can't help that!

　ここは「君たちが泳げないことについてはどうにもならん」という意味。かなりウンザリしている感じ。それをもっと強調すると「そんなこと知ったことかい！」となる。

## ❿ But then another Seal came up from under the water and spoke to him.

## ⓫ 'Who?' said the first Seal. 'Speak up !'

4-04-B「ガチガチ訳」

❾「あれは問題でない。私たちはあれを助けることができない！」そのアザラシが言った。

❿しかしそのとき他のアザラシが水の下から上がってきた。そして彼に話した。

⓫「だれ」最初のアザラシが言った。「大声で言え！」

4-04-C「なめらか訳」

❾「**だから何だっていうんだ**。そんなこと**知ったことかい！**」とそのアザラシは言いました。

❿ところがその時，別のアザラシが水中から上がってきて，そのアザラシに話しかけました。

⓫「誰だって？」と初めのアザラシは言いました。「はっきり話せよ！」

⓬ The second Seal said some more into his friend's ear.

⓭ They heard the words—'Special Visitors' and 'friends of....'

⓮ The first Seal then said politely to them,

⓯ 'Oh, I'm sorry. I'm pleased to meet you.
I didn't know....'

4-04-B「ガチガチ訳」

⓬二番目のアザラシが彼の友だちの耳の中にさらにいくつかを言った。

⓭彼らはその単語を聞いた。「特別招待客たち」と「…の友人たち」

⓮最初のアザラシがそれから，彼らにていねいに言った。

⓯「おお，私が悪い。私はあなたたちに会えてうれしい。私は知らなかった」

4-04-C「なめらか訳」

⓬二番目のアザラシが仲間の耳に何かさらに言いました――

⓭「特別招待客」とか「……さんのご友人の……」とか。

⓮はじめのアザラシが，それから，礼儀正しく二人に言いました。

⓯「いや，申しわけない。お会いできて嬉しいですよ。私は知らなかったもんで……」

## 日本語にはない完了形は英語独特の言いかただ

**'I haven't got much,** (4-01-A❺)

haven't gotはhave not hadと同じ。意味の上では，have not so much moneyだ。完了形というのは時間の幅を注意すれば現在か過去かのどちらかで訳すこと。なぜならば日本語には完了形というのはないからだ，ということはすでに述べたね。ここは「あんまりないな」ではちょっと舌たらずなので「あんまりたまらない，たまってないな」とする。

## putを使った使役の表現

**Don't ask her questions.** (4-01-A⓬)

You do not ask her questions.「あなたは彼女に質問をしてはいけない」。第四文型の典型だ。Mary Poppins put them to bed quickly…… put them to bed. でまさしく「彼らをベッドにつける」。put them to sleepなら「彼らを寝かしつける」。put～to～「～を～の状態におく，つける」。

## 4-02-D

### you didを「君はそうした」と訳さず「そうだったね」と訳してみる

**Here's your ticket,** (4-02-A⑯)

「さあ君たちの切符だよ」だが，このhere isは実際に相手にそのものを渡している動作に呼応している。つまり手渡しながら言っている，ということがhere'sでわかるわけだ。'You did' 以前，カン入りのアメをあげたというマイケルの言葉を，「君はそうしたよ」と肯定しているところなので，「ああそうだったね」としていいだろう。

## 4-04-D

### letという使役動詞の訳し方はむずかしい

**Let's see you in the water.** (4-04-A❹)

Let'sだからといっていつも「～しましょう」ではない。Letはもともと使役の動詞。Let usで「われわれをして～せしめる」だ。ここは，「水の中で君たちと会ってやろうじゃないか」あるいは「君たちに，僕らを見せてやろうじゃないか」と何だかえらく高慢な調子で言っている。あるいは，いいがかりをつけている，といった感じの言い方だ。

**Come on now—and see if you like it.** (4-04-A❼)

「こいよ，気に入るかどうか調べてみろよ」。

see if you like it.「気に入るかどうか調べてみろ」。水の

中が，あるいは水の中でアザラシと会うことが。seeは「調べる」「検査する」といった意味で使われている点に注意。「見る」「会う」だとちょっとわからなくなってしまうところ。itは，水の中で彼らアザラシと会うこと，を指す。

Point 40

## oneという語のおもしろい使われ方

**I want elephant like the one at the zoo.**

僕は象がほしい。動物園にいるようなやつが。

このようなoneの使い方は，日本人には，なかなかなじめません。そのためかえって目新しさを感じます。どうして，like **that** あるいは like it というように代名詞の**that**あるいは，itを使わないのでしょう。これも一種の気取った英語の言い方のひとつのように思えます。例えばお店に入って，商品を指さして，

I love that one.

（私，あれが気に入った，あれにするわ）

というような言い方をするとき，この one を使います。oneは人間のかわりもします。

One must keep rules.

（人は，キマリを守らなければならない）

トイレに入ってることを合図するとき，「入ってます」と言うのを英語で言うと，

**Someone** in.

と言うそうです（この someone の one も人間代名詞ですね）。でも実際には，アメリカ人だって何にも言いません。ドアを内側からコンコンとたたけばいいわけですから。

このように one というのは，人間も物も代名します。しかも，主語にも目的語にも使われるのです。この one という語に注意してください。

**Point 41**

# どんな英語の表現にも四通りの言い方がある

一つの表現に英語にはたいてい四種類の言い方がありうる。逆に言えばどんな日本文も、必ず、四種類の文に翻訳できる。

**It took me ten days to get it off.**

私が，それをはずすのに10日かかった。

It **took me ten days** to get it off.

（私が，それをはずすのに10日かかった）

この言い方は，たいへん，重要な言い方です。**It** が初めにきて，次に take という動詞がきて，そのあとにme という人間目的語がくる。この型の文章は，よく観察してみると，文法理論上も重大な問題点をかかえています。日本語の「10日かかる」の「かかる」というコトバにちょっと特別な感じがあるからです。別に，どこかに何かがひっかかっているわけではないのです。「時間が過ぎる」と

いう内容を「人間」に関係させた言い方なのでしょう。同じような例文で観察してみましょう。.

「私は，そこに行くのに2時間かかった」

この例文をコトバの外形ではなく内容の点から，いろいろ英作文してみると，次のように書けます。

1．I **walked** for two hours and reached there.
(私は2時間歩いて，そこに着いた)
2．We **needed** two hours to go there on foot.
(そこに行くには歩いて2時間必要だった)
3．Two hours walk **took** me there.
(2時間の歩きが，私をそこに到着させた)
4．It **took** me two hours to reach there.
(そこに行くのに，私には2時間かかった)

ざっと四通りの言い方ができるわけです。ふつう，日本の英作文の授業では，第4.の take という動詞の使い方だけを強調して教えることになっています。この日本文であれば，この英文という風に，頭から決めてかかっているのです。そして，せいぜいあと一種類の答えも，「書きかえ問題」として書いてみせる，といったところが実情でしょう。

さらに，別の例文で考えてみましょう。同じく「かかる」でも，今度は，「お金がかかる」の方で考えてみましょう。

「この本は￥900です」

1．I **pay** ￥900 for this book.
（私は，この本に対して￥900払う）

| 2． | | |
|---|---|---|
| We | **buy** | this book **for** ￥900. |
| You | **get** | |
| They | **sell** | |

（私たちは，この本を￥900で買う［手に入れる］）
（彼らはつまり［書店は］この本を￥900で売っている）

| 3． | | |
|---|---|---|
| | **is** | |
| This book **is** | **worth** | ￥900. |
| The price of this book | **is** | |

（この本［の値段は］は￥900です）

4．It **costs** me ￥900 for this book.
（この本は，私に￥900かかる）

この例文でも4.の It costs me の言い方が，模範答案ということになっています。そして，3.のThis book = ￥900すなわち，A = Bのような，素朴な言い方はこの国では英語教師たちからなんとなく嫌われているようです。しかし，素直に考えてみると，「この本 = ￥900」となっていて，日本語の理屈にも合っているのです。はんとうに，深刻に英語をしゃべらなければならない体験をしたことのある人には思いあたる節があると思いますが，3.のような荒っぽい原始的な言い方ほど，より原理的なのです。さらに例文を挙げてみます。

「このコーヒーはうまい」

1．I | **like** | this cup of coffee.
　　| **love** |

（私は，このコーヒーが好き）

2．We | have this good coffee.
　　You
　　They
　　People
　　Man

（我々には，このうまいコーヒーがある）

3．This cup of coffee | **tastes** | good.
　　　　　　　　　　| **is** | nice.

（このコーヒーはうまい）

4．It's | good for | me to have this cup of coffee.
　　　| nice of |
　　　| delicious to |

（このコーヒーは私にはおいしい）

これでおわかりいただけたことと思いますが，英文には，たいていこの四種類の言い方がありうるのです。逆に言えばどんな日本文も，必ず，この四種類の文に翻訳できるのです，と私はあえて断言することにしましょう。一つの英文が幾とおりもの日本文に訳しうるように，そして実際にそのように私たちはやっているのです（ポイント①の「てにをは論」を参照p. 17）。

そこで，私は，この四種類の文に，それぞれ名前をつけています。

| | |
|---|---|
| 1　人間主語中心の文 | I, You, Heなどが主語にきて、立場をはっきりさせる文 |
| (anonymous アノニマス) 2　非人称主語の文 | We, You, They, People, Man, Oneが主語にくる文。人一般が主語の文 |
| 3　物主語(ものしゅご)の文 | 物や事柄、現象、抽象観念(愛や心とか)が主語の文 |
| 4　存在の文 | 「ある」という事実だけを表わしている文。<br>That is, This is<br>It's, Here is<br>There areの型の文 |

すべての英文は，必ずこのうちのひとつだ，と考えてもよいのだ，と思います。

4-05-A

❶ Someone from behind banged into Jane.

❷ She turned quickly and was very afraid when she saw it was a very large Lion.

4-05-B「ガチガチ訳」

❶後から誰かがジェインをたたきこんだ。

❷彼女は急いでまわった。そして，彼女は，それが非常に大きなライオンであるのを見たとき，非常に怖かった。

4-05-C「なめらか訳」

❶誰かが後ろからジェインにバーンとぶつかりました。

❷彼女は素早く振り返り，それがとても大きなライオンだったのを見て，とても恐ろしくなりました。

4-05-A

❸ But the Lion looked pleased to see her, and said, 'I didn't see you at first!

I didn't see you at first !
「あなたに会ったことない」でも、「見たことない」でもない。
そう「見えなかった」んだ。at first は「最初」だが、ここはもう
ひとつ工夫して「つい」とやろう。急いでいて「見えなかった」
ので、ライオンはぶつかってしまったのだ。

❹ There's such a crowd here tonight and I was in a hurry.

❺ Are you coming along? You oughtn't to miss it, you know...'

4-05-B「ガチガチ訳」

❸しかし，ライオンは彼女を見て満足そうに見えた。そして言った。「私はあなたを見るのは最初でない！

❹今夜はここはこのような群集がある。そして，私は急いでいた。

❺あなたは連れ添ってくるか。あなたはそれを失うべきではない。あなたは知っている……」

4-05-C「なめらか訳」

❸でも，そのライオン**の方**は彼女に会って嬉しそう**に**，［こう］言いました。「あなたが**つい**目に入らなかったもんで！

❹今夜はここらはこうした混雑だし，私も急いでいたんですよ。

❺あなたも一緒に行きませんか？あれを見のがしてはいけませんよ，ご存知でしょう……」

4-05-A

❻'Perhaps.' said Jane politely, 'if you will show us the way.'

❼ Everything, she thought to herself, is very upside-down here.

❽'With pleasure!' said the Lion, and put out his arm for her to hold.

4-05-B「ガチガチ訳」

❻「たぶん」ジェインがていねいに言った。「もしあなたが私たちにその道を示すなら」

❼すべてのことが，彼女は彼女自身に言った，ここでは非常に逆さまだ。

❽「喜びといっしょに！」そのライオンが言った，そして彼は彼女を抱くために彼の腕をさしだした。

4-05-C「なめらか訳」

❻「たぶんね」とジェインは礼儀正しく言いました。「あなたが案内してくれるなら」

❼なにもかも，とジェインは心の中で考えました。ここではまったくあべこべだわ。

❽「よろこんで！」とライオンは言って，ジェインにつかまるようにと腕をのばしました。

❾ Jane took it, but she kept Michael beside her.

❿ He was a round, fat little boy, and lions, she thought, are lions....

⓫ But the Lion took them through the crowd right up to the Big Cat House.

4-05-B「ガチガチ訳」

❾ジェインはそれを取った。しかし彼女はマイケルを彼女のわきにおいた。

❿彼は丸くて，太った小さな男の子だ。そしてライオンたちは，彼女は考えた，ライオンたち……。

⓫しかし，そのライオンはその群集を通って「大きなネコの家」に彼らを連れていった。

4-05-C「なめらか訳」

❾ジェインはその腕につかまりましたが，マイケルを自分のわきにかばいました。

❿マイケルは丸く太った少年だし，ライオンは，彼女は思ったのですが，やはりライオンですから……。

⓫でもそのライオンは二人を，混雑をかきわけて，ちょうど「猛獣館」まで連れていきました。

⓬ Jane and Michael could not believe what they saw when they got inside.

⓭ The place was full of animals.

⓮ Some of them were standing by the long bars in front of the cages.

⓯ Some of them were sitting in the seats.

4-05-B「ガチガチ訳」

⓬ジェインとマイケルは彼らが内側で得たとき，彼らが見たものを信じることができなかった。

⓭その場所は動物たちでいっはいだった。

⓮彼らの内のいく人かはそのオリたちの前のその長い棒のそばに立っていた。

⓯彼らの内のいく人かは椅子の中に座っていた。

4-05-C「なめらか訳」

⓬ジェインとマイケルはその中に入った時に見たことが信じられませんでした。

⓭その場所はたくさんの動物たちでいっぱいでした。

⓮あるものはオリの前の長い棚のそばに立っていました。

⓯あるものは椅子に座っていました。

4-05-A

⑯ There were lions and tigers, wolves and crocodiles, monkeys and elephants, goats and giraffes.

⑰ And a noisy crowd of very large birds.

⑱ The Lion pushed his way through them all until they came up to the cages.

The Lion pushed his way through them....

them は動物の群れ。pushed his way... で「群れをかき分けて」の感じ。「道を押し通す」わけだ。

4-05-B「ガチガチ訳」

⓰ライオンたちやトラたち，狼たちやワニたち，サルたちや象たち，ヤギたちやキリンたちがいた。

⓱そして騒がしい非常に大きな鳥たちの集団。

⓲ライオンは彼らすべてを通りぬけ彼の道を押した。彼らがそのオリに近づくまで。

4-05-C「なめらか訳」

⓰そこには，ライオンとトラ，狼とワニ，サルと象，ヤギとキリンがいました。

⓱それからとても大きな鳥のにぎやかな一群がいました。

⓲あの［案内してくれた］ライオンは，それらを押しのけて，二人をオリに近づけるようにしました。

4-06-A

❶'Why !' said Michael, his mouth as wide open as it could go.

as wide open as it could go.
「ありったけの口を開いて」という表現。it could goは日本語の語感と合わないからちょっと違和感があるかもしれない。goはbecomeの代用と考えればいいんだが。

❷'Why, the cages are full of people !'

❸And so they were.

4-06-B「ガチガチ訳」

❶「なぜ！」マイケルが言った。彼の口が，それができる限り広くあけて。

❷「なぜ，オリはいっぱいの人間たちだ！」

❸そして，彼らはそうだった。

4-06-C「なめらか訳」

❶「どうして！」とマイケルは言いました，ありったけの口を開いて。

❷「どうして，オリは人間でいっぱいだ！」

❸まさしく人間たちでいっぱいでした。

4-06-A

❹ In one cage there were two tall, middle-aged gentlemen in their City hats and dark trousers.

❺ In another cage were children of all ages, from babies to big boys and girls.

❻ The animals outside the cages looked at them all with great interest.

The animals outside the cages....
「オリの外の動物」、outside the cage は後ろから
The animals にかかっている。

4-06-B「ガチガチ訳」

❹ひとつのオリの中ではシティ・ハットをかぶって，黒いズボンを着た二人の背の高い中年の紳士がいた。

❺他のオリの中には赤ちゃんから大きな男の子，女の子まで，すべての年齢の子供たちがいた。

❻オリの外にいる動物たちは大きな興味で彼らのすべてを見た。

4-06-C「なめらか訳」

❹一つのオリには，シティ・ハットと黒いズボン姿の二人の背の高い中年紳士が入っていました。

❺べつのオリには，あらゆる年齢の子供たち，赤ん坊から大きな少年少女までが，入っていました。

❻オリの外の動物たちはその人間たちを実に興味深げにのぞいていました。

4-06-A

❼ Some of them tried to make the babies laugh.

❽ Some put their paws or their tails through the bars.

❾ And one Giraffe put his head at the end of his long neck right through the bars and touched a little boy's face.

4-06-B「ガチガチ訳」

❼彼らの内のいく人かは赤ちゃんを笑わせるために試みた。

❽いく人かは彼らの足かまたは彼らのしっぽを棒たちから通して置いた。

❾そして一頭のキリンは彼の長い首の最後にある彼の頭を棒を通して置いた，そして小さい男の子の顔にふれた。

4-06-C「なめらか訳」

❼あるものは赤ん坊を笑わそうとしていました。

❽あるものは，手やしっぽを柵の間に入れていました。

❾そして，一頭のキリンは，その長い首の先にある頭を柵の間につっこんで，小さな少年の顔にさわりました。

⑩ In a third cage were three older ladies.

⑪ They were shouting at the animals and trying to push them with their umbrellas.

⑫ 'Go away! Go away! I want my tea!' one of them cried loudly.

⑬ All the animals laughed at her.

4-06-B「ガチガチ訳」

❿三番目のオリには三人の年とった淑女たちがいた。

⓫彼女たちは動物たちに叫んだ。そして，彼女たちの傘で彼らを押そうと試みた。

⓬「あっちへ行け，あっちへ行け，私は私のお茶がほしい！」彼女たちのひとりが大きく叫んだ。

⓭すべての動物たちが彼女を笑った。

4-06-C「なめらか訳」

❿三つ目のオリには三人の年配の婦人が入っていました。

⓫その御婦人方は動物たちに向かって声をはりあげ，傘で押しのけようとしていました。

⓬「あっちに行って！　近寄らないで！　お茶にしたいのよ！」とその中のひとりが大声で叫びました。

⓭動物たちが一斉に彼女を嘲笑いました。

⑭'Jane—look! There's Captain Boom,' said Michael. And so it was.

⑮He was running up and down in his cage, and coughing and blowing his nose and making angry noises.

⑯Every time he came near the bars a Tiger touched him with a stick, and this made Captain Boom angrier than ever.

4-06-B「ガチガチ訳」

⑭「ジェイン，見ろ！　キャプテン・ブームがいる」マイケルが言った。そして，それはそうだった。

⑮彼は彼のオリの中で走りまわっていた。それから，せきをしたり，彼の鼻をならしたり，怒った騒音をつくっていた。

⑯いつでも彼がその棒のそばに来たとき，一匹のトラがひとつの棒で彼にふれた。これはキャプテン・ブームを以前より怒らせた。

4-06-C「なめらか訳」

⑭「ジェイン――見て！　ブーム船長がいる」とマイケルが言いました。本当にそうでした。

⑮船長はオリの中を行ったり来たりしながら，せきをしたり鼻をならしたりうなり声をあげたりしていました。

⑯船長が柵に近づくたびに，トラがつえでつっつき，それが一層ブーム船長を怒らせてしまいました。

4-07-A

❶‘He’s dangerous, that one.’ said the Lion.

❷‘He nearly killed his keeper not long ago.

He nearly killed his keeper not long ago.
「彼は飼育係をほとんど殺した」だが，「殺しかけた」ということで「殺してしまった」のではない。nearly とか almost の意味はとらえにくい。「からくも逃れた」「かろうじて助かった」という日本語表現も覚えておこう。

❸ Don’t go near him. But look—now they’re going to feed them. Here come the keepers.’

4-07-B「ガチガチ訳」

❶「彼は危険だ，あのひとつ」ライオンが言った。

❷「彼は，長くない以前に彼の飼育係をほとんど殺した。

❸彼の近くに行くな。しかし，見ろ，今，彼らは彼らに食物をあたえようとしている。ここに飼育係たちがくる」

4-07-C「なめらか訳」

❶「彼は危険ですよ，あいつは」とライオンが言いました。

❷「つい最近も，飼育係を殺しかけたんですから。

❸近づいてはいけません。でもほら——これからこいつらに餌をやるところですよ。飼育係たちがやってきました」

❹ Four Brown Bears were pushing carts of food up to the cages.

❺ 'Stand back, stand back!' they said to the animals.

❻ They opened a small door in each cage and pushed the food in.

**4-07-B「ガチガチ訳」**

❹四頭のヒグマたちがそのオリに食物の入れものたちを押してきた。

❺「さがれ，さがれ！」彼らは動物たちに言った。

❻彼らはそれぞれのオリのひとつの小さな扉を開いた。そしてその食物を押し入れた。

**4-07-C「なめらか訳」**

❹四頭のヒグマが餌をのせた手押し車を押してオリのところへやってきました。

❺「さがって，さがって！」と彼らが動物たちに言いました。

❻それぞれのオリの小さなドアを開けて，食物を押し入れました。

4-07-A

❼ The babies got bottles of milk ; the older children got cakes ; the ladies got thin bread and butter ; and the gentlemen got meat and potatoes.

❽ They all ate their food at once, and with great pleasure.

❾ Only the Captain made a lot of noise about his.

the Captain made a lot of noise....

noiseは、不快で非音楽的な「物音」「騒音」あるいは「叫び」「騒がしさ」。ここでは、キャプテンが自分の食物に関して「騒いでいる」ので、つまり「不平を漏している」わけだ。

**4-07-B「ガチガチ訳」**

❼その赤ちゃんたちはミルクのビンたちを取った。より年とった子供たちはケーキたちを取った。婦人たちは薄いバター・パンたちを取った。そして紳士たちは肉とイモたちを取った。

❽彼らはすべて，彼らの食べ物をすぐに食べた。そして非常な満足といっしょに。

❾キャプテンだけは彼のものに関してたくさんの騒音をつくった。

**4-07-C「なめらか訳」**

❼赤ん坊たちはミルクのビンをもらいました。年上の子供たちはケーキをもらいました。御婦人たちは薄切りのバターつきパン，そして紳士たちは肉とジャガイモをもらいました。

❽みんな自分の食べ物をいっぺんにとても嬉しそうに食べました。

❾ただ船長だけは自分の食物に不平を漏らしていました。

4-07-A

⑩ The Lion now said good-bye to Jane and Michael.

⑪ 'I must go now, but I'll see you later in the Grand Chain. I'll look out for you.'

⑫ Jane turned to speak to Michael, but he was standing and talking to a Penguin.

4-07-B「ガチガチ訳」

❿そのライオンはいまジェインとマイケルにさよならと言った。

⓫「私は今，行かねばならない。しかし後でグランド・チェインで私はあなたと会うだろう。私はあなたを注意してさがすでしょう」

⓬ジェインはマイケルに話すためにまわった。しかし，彼は立っていた，そして一羽のペンギンに話していた。

4-07-C「なめらか訳」

❿ライオンがその時ジェインとマイケルに，さよならを言いました。

⓫「もう行かなくては，でもまた後で大きな輪でお会いしましょう。お会いできるのを楽しみにしてますよ」

⓬ジェインがマイケルに話しかけようと振り向くと，マイケルは立ったまま，ペンギンと話をしているところでした。

4-07-A

⑬ The Penguin had a large notebook under one arm, and a very long pencil under the other.

4-07-B「ガチガチ訳」

⓭そのペンギンは大きなノートをひとつの腕の下に持った。そして非常に長い鉛筆を違う腕の下に持った。

4-07-C「なめらか訳」

⓭そのペンギンは一方の腕の下に大きなノートブックを，そしてもう一方の腕の下にとても長い鉛筆を**はさんで**持っていました。

4-08-A

## ❶'I can't think,' Michael was saying.

I can't think,
「考えられない」というより「思いつかない」だ。
日本語なら「わかんない」でいいだろう。

## ❷The Penguin turned to Jane.

4-08-B「ガチガチ訳」

❶「私は考えられない」マイケルが言っていた。

❷そのペンギンはジェインの方にふり向いた。

4-08-C「なめらか訳」

❶「わかんないよ」とマイケルが言っていました。

❷ペンギンはジェインの方に向きました。

4-08-A

❸'Perhaps *you* can tell me. What rhymes with Mary? Don't say 'fairy' because that is not in the least like her. It won't do.'

❹'Hairy,' said Michael brightly.

❺'No, that's not good enough. I'll have to give it up.

**4-08-B「ガチガチ訳」**

❸「たぶんあなたは私に告げることができる。何がメアリーと韻を踏むかフェアリーと言うな，なぜならあれは少なくとも彼女に似てない。それはしないだろう」

❹「ヘアリー」マイケルが明るく言った。

❺「いいえ，あれはじゅうぶんによくない。私はそれをあきらめなければならないだろう。

**4-08-C「なめらか訳」**

❸「たぶん君なら答えてくれるよね。何がメアリーと韻が同じなのなんだ？　でもフェアリー（妖精）はだめだよ。だって，それは少しも彼女らしくないからね。それはだめ」

❹「ヘアリー（毛深い）」とマイケルが**目を輝かせて**言いました。

❺「だめ，それでは十分ではない。どうやらあきらめなきゃならないな。

❻ You see, I'm trying to write something for the Birthday. I've begun,

*Oh Mary, Mary...*

but I can't write the next line.

❼ I must go now and think about it,' and he hurried away, his pen in his mouth.

❽ 'Whose birthday is it?' asked Jane.

4-08-B「ガチガチ訳」

❻あなたは見る。私はその誕生日用のためになにかを書くために試みている。
私は始めた。

オオ，メアリー，メアリー……

しかし，私はその次の行を書くことができない。

❼私は今行かなくてはならない。そしてそのことについて考えなければならない」そして彼は急いで立ち去った。彼のペンを彼の口の中に入れて。

❽「それは誰の誕生日だ？」ジェインがたずねた。

4-08-C「なめらか訳」

❻**つまりね**，誕生日のために何か書こうとしているんだよ。書きだしはこうだ……

おお，メアリー，メアリー……
次の行が書けないんだ。

❼さて行かなくちゃ，そしてこれについて考えなくちゃな」と，ペンギンは急いで行ってしまいました。ペンを口にくわえたままで。

❽「誰の誕生日なの？」とジェインがたずねました。

❾'I don't understand this.'

❿'Now, come along, come along, you two,' said a deep voice behind them.

⓫It was the Brown Bear.

⓬'You want to see it all, of course?'

You want to see it all, of course?

　この it は，ジェインとマイケルにもわからない it，当然読者にもわからない形で出されているもの。「みんな見たいでしょ，当然？」。of course ？は，ちょうど付加疑問の don't you ？のかわりをしているかっこうだね。

4-08-B「ガチガチ訳」

❾「私はこれを理解しない」

❿「今，添ってこい，添ってこい，あなたたち二人」彼らの後でひとつの深い声が言つた。

⓫それはその灰色熊だった。

⓬「あなたはそれをすべてを見るために欲する。もちろん？」

4-08-C「なめらか訳」

❾「どうなっているのか，まるでわかんないわ」

❿「さあ，行きましょ，行きましょ，お二人さん」と太く通る声が二人の後ろから言いました。

⓫それはヒグマでした。

⓬「みんな見たいでしょ，もちろん？」

⑬‘Of course,’ said Jane. But she did not understand at all.

⑭The Brown Bear put an arm round each of them and pulled them along the path with him.

⑮He was soft and warm to touch and his deep voice came up from far down inside him.

4-08-B「ガチガチ訳」

⑬「もちろん」ジェインが言った。しかし，彼女はすべてを理解しなかった。

⑭その灰色熊は一つの腕を彼らのそれぞれに回して，彼といっしょにその小道に添って彼らを引っぱった。

⑮彼はさわるために柔らかで暖かかった。そして彼の深い声は彼の内側の遠い下から上がってきた。

4-08-C「なめらか訳」

⑬「もちろん」とジェインは言いました。でも彼女はなんにもわかっていなかったのでした。

⑭ヒグマは二人にそれぞれ腕をまわし，道に沿って二人を引っぱって行きました。

⑮ヒグマはさわると柔らかくて暖かく，その太く通る声はうんと奥の方から出てくるのでした。

## 4-06-D

**In a third cage were three older ladies.** (4-06-A ⑩)

前の In another cage のところと同様 there が省略されている形。あるいは Three older ladies were in a third cage. の倒置。

## 4-07-D

### 「〜がやってきた」という言い方
### Here come 〜を覚えよう

**Here come the keepers.** (4-07-A ❸)

「飼育係がやってきた」。Here comes the sun.とかHere comes the rain.「日が照ってきた」「雨が降ってきた」とやる場合の here come と同じ。The keepers come here. でもいいわけだが，それだと命令形とまぎらわしくなる。

## 4-08-D

### 「韻をふむ」というのは
### 英語特有の表現だ

**What rhymes with Mary ?** (4-08-A ❸)

ここのrhymeは「韻をふむ」という動詞。「メアリーと韻をふむコトバはなんだ？」。日本語の場合韻律というコトバのしくみがあまり発達しなかったので，こういう言い方はなかったわけで，あまりピンとこないだろう。「フェ

アリー」ではだめだ，とペンギンは言っている。

### 付帯状況のwithの訳し方を身につけよう

**he hurried away, his pen in his mouth.** (4-08-A❼)
「彼は急いでたち去った」まではいいね。his pen in his mouthは，わかるかな，付帯状況を示しているって？そうwithが抜けてる，というか落としてしまった形だ。withがなくても，これが付帯状況を示す，つまり「ペンを口にくわえて」と見当がつくようなら，あなたは相当，この本がわかってきたということだ。

### 4-09-D

**They saw they were in the Snake House.** (4-09-A❹)
二人はヘビの館にいることに気づきました。

このsawの後にはthatが省略されています。このsawは，seeの過去形ですね。これは「見る」という意味として皆さんは覚えていらっしゃるのでしょう。しかし，

Oh, I see.

「オウ，アイ・シー．あっそうか，分かりました」のように，ここでは「分かった」という意味になるのです。ですから，ここでのsee（saw）は，ただ単に「見る」「見える」ではなくて，「分かる」「分かった」の意味なのです。つまり，このseeは「目の前で見るように分かった」とい

う意味なのです。

ところで「分かる」という単語は，他には何かありませんか。というと，私たちはすぐに，understand（アンダースタンド）を思い浮かべますね。それでは，seeと，このunderstandの違いは何なのでしょうか。それは，同じ「分かる，理解する」であっても，「目の前に見えるように分かる」か，「見えないものだけど，頭の中だけで分かる」かの違いなのです。

see（この仲間にfind「気付く，分かる」もあります）は，「目の前で見るように分かる」ということなのです。それに対して，understandの方は，気の利いた英和辞典では，「下に（under）立つ（stand）──►ものごとについて深くはっきりとした知識をもつ」と書いてあります。これは，どういう意味なのでしょうか。なんだか，よく分かりませんね。簡単に言うと，understandは「目に見えないものを分かる」ということです。もっと言うと，「証拠（evidence）や根拠（warrant, ground）に基づいて，目に見えないものを分かる」ということなのです。ここに両者の違いがあります。この説明では，まだ，「分かり」ませんね。それでは

I understand you.

という簡単な英文で考えてみましょう。この一行の英文が，ときに，それが，英文として，何を意味しているのかをはっきり理解することは大切なことです。これを，ふつう私たちは「私はあなたを理解する」とやります。しかし，これでは間違いです。

I understand you. を「私はあなたを理解する」と訳せば，これで，日本の英語教育では正しい答です。なぜなら，英語教師たちだって，このように訳すのですから。どこがおかしいというのでしょう？　この訳の，どこがおかしいのでしょう？

それは，「人が人（他の人）を理解する」というのは，ものすごく大変だ，ということです。たとえ親子兄弟でも，恋人どうしでも，「人を理解する」というのは，並みたいていのことではないのです。

実は，I understand you. の本当の正しい訳は，「私は，あなたの言うことが分かった」なのです。「今，あなたがしゃべったことの意味が分かった」なのです。このyouは「あなたという人物」の意味ではありません。このyouは，＝what you said で，「あなたが今，言ったこと」という意味なのです。

ですから，see（find）と，understand は同じ「分かる」なのに，その中身はこれぐらい違うのです。分かりましたか。

4-09-A

❶ 'Here we are, *here* we are!' he said, and stopped before a small, bright house.

Here we are, here we are!

はじめの Here we are は「さあついた」, 二つめのは「さあここですよ」。We are here in the place. という感じ。

❷ Lights were shining out of each window.

❸ The Bear opened the door and pushed the children in.

4-09-B「ガチガチ訳」

❶「私たちはここにいる。私たちはここにいる！」彼は言った。そして小さくてかがやいているひとつの家の前にとまった。

❷光たちはそれぞれの窓からかがやいていた。

❸その熊はそのドアを開け，その子供たちを中に押し入れた。

4-09-C「なめらか訳」

❶「さあついた，さあついた！」とヒグマは言って，小さな明るい館の前に立ちどまりました。

❷光りがどの窓からもかがやきあふれていました。

❸ヒグマはドアを開け，子供たちを押すようにして入れました。

❹ They saw they were in the Snake House.

❺ All the cages were open and all the snakes were out.

❻ Some were quietly sleeping, some were sliding about the floor.

4-09-B「ガチガチ訳」

❹彼らは彼らがそのヘビの家にいるのを見た。

❺すべてのオリたちが開いていた，そしてすべてのヘビたちは外にいた。

❻いくつかは静かに寝ていた。いくつかは床のそばをすべっていた。

4-09-C「なめらか訳」

❹二人はヘビの館にいることに気づきました。

❺オリはみんな開いていて，ヘビはみんな外に出ていました。

❻あるものは静かに眠っています。あるものは床を這っています。

4-09-A

❼ And in the middle of the snakes sat Mary Poppins.

❽ Jane and Michael just looked at her.

❾ 'Two of the Birthday friends,' said the Brown Bear.

❿ The snakes looked round at the children.

4-09-B「ガチガチ訳」

❼そしてそのヘビたちのまん中にメアリー・ポピンズが座った。

❽ジェインとマイケルはちょうど彼女を見た。

❾「その誕生日の友人の二人」ヒグマが言った。

❿そのヘビたちがその子供たちを見まわした。

4-09-C「なめらか訳」

❼そして，ヘビたちのまんなかにはメアリー・ポピンズが座っていたのです。

❽ジェインとマイケルはただただ彼女をながめたのでした。

❾「誕生日のお友だち，お二人さんだよ」とヒグマが言いました。

❿ヘビたちが子供たちの方をながめました。

4-09-A

⓫ Mary Poppins did not move, but she spoke.

⓬'And where's your coat?' she asked sharply of Michael.

⓭'And, Jane, what are you wearing? Where's your hat?'

⓮ Before they could answer, there was a soft hissing sound in the Snake House.

there was a soft hissing sound in the Snake House.
「シュッシュッという柔かい(あるいは低い)音が聞こえた」。
they heard there a soft.... ということ。

4-09-B「ガチガチ訳」

⓫メアリー・ポヒンズは動かなかった。しかし，彼女は話した。

⓬「そして，あなたのコートはどこ？」彼女はマイケルに鋭くたずねた。

⓭「そしてジェインあなたは何を着ているのか？　あなたの帽子はどこ？」

⓮彼らが答えることができた前に，ヘビの家の中で一つの柔らかいシュウという音がたった。

4-09-C「なめらか訳」

⓫メアリー・ポピンズは身じろぎもしないで話しました。

⓬「で，あなたたちのコートはどこなの？」と彼女はマイケルにきびしくたずねました。

⓭「それから，ジェイン，あなたは何を着ているの？　あなたの帽子はどこ？」

⓮二人が答えるより先に，ヘビの館の中に柔らかいシュッシュッという音が**聞こえてきました**。

⑮ The snakes all rose and bowed.

⑯ The Brown Bear took off his cap.

⑰ And slowly Mary Poppins, too, stood up.

4-09-B「ガチガチ訳」

⑮そのヘビたちはすべて首をもち上げて，おじぎをした。

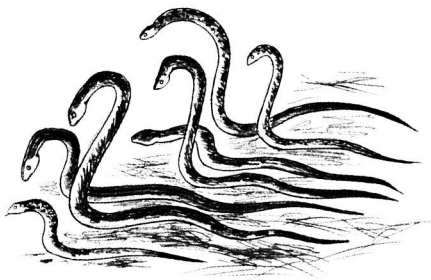
⑯そのヒグマは彼の帽子を取った。

⑰そしてゆっくりとメアリー・ポピンズもまた立ち上がった。

4-09-C「なめらか訳」

⑮ヘビはみんな起きあがっておじぎをしました。

⑯ヒグマは帽子を取りました。

⑯それからメアリー・ポピンズも，ゆっくり立ち上がりました。

❶'My dear child, my very dear child!' said a small, soft, hissing voice.

'My dear child, my very dear child !'

　このセリフはメアリー・ポピンズに向かって言っているもの。ジェインとマイケルとにではないことに注意。child となっていて children となっていない。「わがいとしの子よ」と時代がかった雰囲気。

❷And out from the largest of the cages came, with slow, soft movements, a Hamadryad.

4-10-B「ガチガチ訳」

❶「私のいとしい子，私の非常にいとしい子！」小さな，柔らかい，一つのシュウシュウといった声が言った。

❷そして大きなオリから出てきた。ゆっくりと，柔らかい動きで，一匹のコブラが。

4-10-C「なめらか訳」

❶「かわいい子供たちよ，なんとかわいい子供たちなんだ！」小さな柔らかいシュッシュッという声が言いました。

❷そして，いちばん大きなオリから，ゆっくりとした，柔らかい動きで，ハマドリヤド（キング・コブラ）が出て来ました。

❸ He slid softly past the other snakes and the Brown Bear until he came in front of Mary Poppins.

❹ Then the front half of his long golden body rose off the floor, and he kissed her face softly, first on one side and then on the other.

❺ 'So!' he hissed. 'This is very pleasant—very pleasant indeed.

very pleasant indeed.

格式ばった言い方。Thank you very much indeed. という場合と同様の indeed。「実に」「まことに」という意味の強調。

4-10-B「ガチガチ訳」

❸彼はやわらかくその他のヘビとそのヒグマを通り越して，彼はメアリー・ポピンズの前まで来た。

❹それから，彼の金色の長い体の前半分を床からもち上げ，そして彼は彼女の顔にやさしくキスした。最初に一つの側にそれから他の違うほうに。

❺「そう！」彼はシュウシュウと言った。「これは非常にうれしい。非常にうれしい実際に。

4-10-C「なめらか訳」

❸彼は，ほかのヘビたちとヒグマの間をスーッと通りすぎて，メアリー・ポピンズの前までやって来ました。

❹それから，その長い黄金の体の前半分を床から起こして，メアリー・ポピンズの顔にやさしく，はじめに片方，次にもう一方と，キスしました。

❺「なんと！」とそのヘビは言いました。「これは楽しい――実に楽しい。

❻ It's not often your Birthday comes on a Full Moon, my dear.' He turned his head.

❼ 'Sit down, friends,' he said.

❽ The other snakes, with another bow, slid to the floor again.

❾ The Hamadryad then turned his small face to Jane and Michael.

4-10-B「ガチガチ訳」

❻満月の夜にあなたの誕生日が来ることはしばしばではない。私のいとしい人」彼は彼の頭をまわした。

❼「座れ，友人たち」彼は言った。

❽その他のヘビたちは，別のおじぎといっしょに、ふたたびその床をすべった。

❾そのコブラはそれから彼の小さい顔をジェインとマイケルにまわした。

4-10-C「なめらか訳」

❻おまえの誕生日が満月に当たることはめったにないから，のぉ」ヘビは振り返りました。

❼「おすわりなさい，諸君」と言いました。

❽ほかのヘビたちは，もう一度おじぎをして，ふたたび床にすべりおりました。

❾キング・コブラはそれからその小さな顔をジェインとマイケルに向けました。

⑩ They moved toward him and looked into his deep eyes.

⑪ They were long and narrow, with a dark sleepy look in them.

⑫ In the middle of the dark sleepiness a light shone.

4-10-B「ガチガチ訳」

❿彼らは彼に向かって動いた。そして彼の深い両目に見入った。

⓫それらは長く，せまい，それらの中にひとつの暗い眠(ねむ)たい様子といっしょで。

⓬その暗い眠たさのまん中にひとつの光がかがやいた。

4-10-C「なめらか訳」

❿二人は彼の方に近づいて，彼の目をまじまじとのぞきこみました。

⓫その目は長く細くて，暗く眠りをさそうような目でした。

⓬その暗く眠そうなもののまん中に，一点の光りがかがやいていました。

⓭'And who are these?' he asked in his soft, hissing voice.

⓮'Jane and Michael Banks,' said the Brown Bear politely. '*Her* friends.'

⓯'Ah, her friends. Then they are welcome. Please find a seat, my dears.'

4-10-B「ガチガチ訳」

⓭「そして，これらは誰？」彼は彼のやさしさの中で，シュウシュウという声でたずねた。

⓮「ジェインそしてマイケル・バンクスです」そのヒグマがていねいに言った。「彼女の友だちです」

⓯「ああ，彼女の友だち，それから，ようこそ，ひとつの椅子を見つけてください，私のいとしい人たち」

4-10-C「なめらか訳」

⓭「で，こちらはどなたかな？」と彼はその柔らかいシュッシュッという声でたずねました。

⓮「ジェイン・バンクスとマイケル・バンクスです」とヒグマが**うやうやしく**言いました。「メアリーのお友だちです」

⓯「おお，メアリーのお友だちか。それは歓迎じゃ。さあさあお席に，おふたかた」

Point 42

# 主語「I」とは何か 神「God」との関係

さて，よく「日本人は，主語Iを大切にしない。だから英語が上手にならない」と英米人の英語教師たちが，言います。たしかに，そのとおりで，英語を話す場合は，「私は」＝I（アイ）を文頭に持って来て，何か言おうとする心構えが大切です。実は，英語の文（sentence，センテンス）のしくみは，きわめて簡単なのです。

「私は」I，「する」do，「何かを」something，「どこで」somewhere，「いつ」sometimeの，この5つのコトバの配置さえ分かっていれば，あとは，この中に適当な英単語をポンポンポンと投げ込んでいけば，それで英文になってしまうのです。

**人間＋行動・動作＋対象（目的）＋場所＋時間＝**

**I + do + something + somewhere + sometime.**

たったこれだけのことなのです。これがヨーロッパ近代合理主義によって，完成された「世界のしくみ」なのです。まさに，人間中心的世界観そのものと言えます。これは，これで，ひとまず大いに役立つ考え方だということにしておきましょう。

それでは，次に，「命令文」なるものについて考えてみましょう。一般に主語Youが文の頭から消えて欠落した

表現法を，命令文というのです。文法学的に，より正しくは「命令法の文」Immperative sentenceといいます。たとえば，Do it（by）yourself！（ドゥ・イツ・（バイ）・ユアセルフ）は，「自分でやれ」です。Be quiet！（ビー・クワイエット）は，「静かにしろ」です。Come here（カム・ヒア）は，「こっちに来い」なのですね。ということは，命令文というのは，主語のYouが消えて省略されてしまった型の文だということです。たしかに，Go away！（ゴウ・アウエイ）「あっちに行け」，は（You should）go away！あるいは，（You must）go away. の省略形だと考えられるのです。文頭のYouが消えて命令文ができるのです。

ところが，です。命令文でもないのに，主語が落ちているとしか考えようがない珍らしい英文があります。それは，Thank You.（サン・キュー）「有難う」です。この動詞Thank「感謝する」の主語が，たしかに消えている。では，このThank youの主語は，Youかと言うとそうではないですね。［前編Point②（p.25）参照］

これだと，

× You thank you.「あなたがあなたに感謝する」

になってヘンですよね。では，［？］thank you.　この［？］に入るのは何だろうか。ですからほんの少しだけ頭を切りかえると，この［　］には，

I thank you.「私はあなたに感謝する」

で，「私」Iが［　］に入ることが分かる。どう考えてもI thank you. 以外には考えられません。このように主語のI

が省略されている表現などというものは，他にそうそうあるものではありません。ところが，もうひとつ他に，

Let's go = Let us go.「行きましょう」

というのがありますね。このlet「させる」の主語は何でしょうか。実はこれも，主語はYouではなく，We「私たちは」が消えている文なのです。ですから，この場合は，(We) let us go.（ウイ・レット・アス・ゴー）で即ち，「私たちが私たちを行かせよう」──►「行きましょう」だと考えるしかないのです。これで何とか少し分かりましたね。

しかし，これでも，どうもしっくりいきません。ですから，では何故，I thank youと言わないのかという疑問が湧きます。このように問うと，「そのように言ってもいいけど言う必要がないから言わないのだ」と英米人は答えます。つまり，これは「主語Iを大切にする英語という国語」の重大な例外だ，と言うのです。それ以上のことを説明できる英米人に，私はこれまで出会ったことがありません。

実は，私の考えでは，このThank you. の主語は，中世のヨーロッパでは，God（ゴッド）「神」だったのではないかと思うのです。

God thanks you.（ゴッド・サンクス・ユー）

だったのです。そして，その訳は，「あなたに，神のおぼしめしがありますように」（=God bless you.）なのです。「神はあなたを祝福します」（=God bless you，ゴッド・ブレス・ユー）ということだと思います。これを，アラビア語（イスラム教）の言葉で言えば，「アッラー・アクバル」（神は偉大なり。全ては神のおぼしめである）なのです。

これらは，全く等しい文なのです。

ところが，それでもThank you.の[　]のところに来るものは何か，依然として謎です。もし，[　]が「神」Godであるならば，何故それが消えたのか。そして，それに取ってかわって，何故，「私」I が，この場所に来るようになったと考えられるようになったのか。そして，その「私」Iも，何故か遠慮して，ここに来たがらず，省略されて，ただThank you.（あるいは，Thanks a lot.「サンクス・アロット」とよく使う）とだけ言うのか。

ここに，全能であるはずの神，即ち，この宇宙の唯一の絶対者で，普遍的存在である神が，ヨーロッパの近代合理主義に破れて，世界（全宇宙）の支配者の座を，人間「I」に奪われたことの痕跡があるのではないか，と私は，今のところ，考えるところまで来ました。このあとは，まだ分かりません。

「神とは存在（sein）であり，存在そのものである」とするのが，中世12世紀以来のヨーロッパ神学の確立した考えです。それに，対して「限りある存在でしかないもの」が，「存在者」です。この「存在者」が，私たち人間（人類）です。「存在」と「存在者」は，このように大きく異なるのです。「神」=「存在」Seinと対立する，「有限なるもの」=「存在者」（Der Sein）が私たち「人間」（人類）なのです。

このような背景を基に，主語I「私は」をいつも念頭におき，「私は」「私は，こう考える」というふうに，英語を使うくせをつけ，しゃべり，勉強することが大切なのです。

❶ Jane and Michael both felt a little afraid of the Hamadryad.

❷ They took their eyes away from him with difficulty and looked round for a seat.

❸ The Brown Bear gave them each one of his big, soft knees to sit on.

4-11-B「ガチガチ訳」

❶ジェインとマイケルは二人ともそのコブラに少しの怖さを感じた。

❷彼らはむずかしさとともに彼らから彼らの目をはなした。そして椅子をさがしまわった。

❸そのヒグマは彼らに彼の大きく柔らかいひざの一つずつを座るためにあたえた。

4-11-C「なめらか訳」

❶ジェインとマイケルは二人ともキング・コブラにちょっと**ひるむ**のを感じました。

❷二人は**やっとのこと**で彼から目をそらし，席の方を見ました。

❸ヒグマがその大きくて柔らかなひざを，一つずつ二人が座るように差し出してくれていました。

❹'He is the greatest in our world—the cleverest and most terrible of us all,' said the Brown Bear in their ears.

❺The Hamadryad smiled a long, slow smile, and turned to Mary Poppins.

❻'Cousin,' he began with a soft hiss.

4-11-B「ガチガチ訳」

❹「彼は私たちの世界で最も偉大な人だ——私たちのすべての中で一番かしこく，もっとも怖い」そのヒグマが彼らの耳で言った。

❺そのコブラはひとつの長いゆっくりした笑顔をほほ笑んだ。そして，メアリー・ポピンズの方にふり向いた。

❻「いとこ」彼はひとつのやさしいシュウシュウで始めた。

4-11-C「なめらか訳」

❹「あの方は私たちの世界でいちばん偉いんだよ——誰よりもかしこくて最も恐ろしいんだ」とヒグマが二人の耳元で言いました。

❺キング・コブラは長くゆっくりとほほ笑んでから，メアリー・ポピンズの方にふり向きました。

❻「いとこよ」と彼は柔らかいシュッという声で始めました。

❼'Is she really his cousin?' asked Michael.

❽'Yes, she is, on the mother's side.' said the Brown Bear.

❾'But listen, he is going to give her the Birthday present.'

**4-11-B「ガチガチ訳」**

❼「彼女はほんとうに彼のいとこなのか？」マイケルがたずねた。

❽「はい，彼女はそうだ。母方の」そのヒグマが言った。

❾「しかし聞け，彼は彼女にその誕生日のプレゼントをあげようとしている」

**4-11-C「なめらか訳」**

❼「メアリーは本当に彼のいとこなの？」とマイケルがたずねました。

❽「そうだよ，母方のいとこなんだ」とヒグマは言いました。

❾「でも［ほら］聞いて，メアリーに誕生日のプレゼントをあげるところだよ」

⑩'Cousin,' said the Hamadryad, 'it is a long time since your Birthday was on the Full Moon.

⑪And so I have had time to think about your Birthday present.

4-11-B「ガチガチ訳」

❿「いとこ」そのコブラが言った。「ひとつの満月の夜にあなたの誕生日があってから長い時間だった。」

⓫そして，それだから私はあなたの誕生日のプレゼントを考えるのに時間を持った。

4-11-C「なめらか訳」

❿「いとこよ」とキング・コブラは言いました。「おまえの誕生日が満月に重なったのはひさしぶりじゃ。

⓫**それで**，わしにはおまえの誕生日のプレゼントを考える時間があったと**いうわけじゃ**。

⑫ And I have decided'—he stopped and there was quietness in all the Snake House—'I have decided to give you one of my skins.'

**he stopped and there was quietness in all the...**

この stop は「やめる」ではなくて「止める」。there was quietness「静けさがあった」ではちょっと変。「彼が（コトバを）中断すると」「静けさが残った」。これをもう一歩「静けさがひろがった」としたらどうだろう。こういう一見かんたんそうな文章が実は高度な表現で，訳もむずかしいのだ。

### 4-11-B「ガチガチ訳」

⓬そして私は決心した」——彼はとまった。そしてそのヘビの家の中のすべてに静けさがあった——「私はあなたに私の皮膚のひとつをあたえることを決心した」

### 4-11-C「なめらか訳」

⓬で，わしは決めた」——彼が中断すると，ヘビの館中に静けさが**ひろがりました**——「わしはおまえにわしの皮を一枚あげることに決めたのじゃ」

4-12-A

❶'Cousin, it is too kind of you...' began Mary Poppins, but the Hamadryad held up his head and said, 'Not at all. Not at all.

Cousin, it is too kind of you...

日本語で「それは，それは，ご親切なことで」なんていうのと妙に似ている it。it を使うのはていねいな言い方で，you are kind と意味の上では同じ。Cousin なんて呼びかけは日本語にはないから，感嘆の言葉に置き換えて「まあ」くらいにすればいい。

Not at all.

「どういたしまして」You are welcome. と同じだ。他に Don't mention it.（それを言わないで。→いいんだよ。）という言い方もある。相手の感謝の気持ちの表明に対して何と答えるかは，どこの国でも微妙な感情を伴った言いまわしがあるものだ。

❷You know that I change my skin from time to time. One skin doesn't mean much to me.

4-12-B「ガチガチ訳」

❶「いとこ，それは私にとってあまりにも親切だ……」メアリー・ポピンズが始めた。しかしそのコブラは彼の頭を持ち上げて，言った。「少しもない，少しもない。

❷あなたは，私が私の皮膚を時間から時間にとりかえることを知る。一つの皮膚は私には多くを意味しない。

4-12-C「なめらか訳」

❶「まあ，あなたはなんて親切なんでしょう……」とメアリー・ポピンズがきり出しましたが，キング・コブラは頭を上げて言いました。「いっこうにかまわない。いっこうにかまわない。

❷知っとるだろうが，わしはときどき皮を変えとるからの。皮一枚はわしにはなんということもないのじゃ。

❸ It is a small enough present, my dear Mary.

❹ But you can use it for a belt or a pair of shoes, as you like.'

❺ He began to move softly from side to side.

4-12-B「ガチガチ訳」

❸それはじゅうぶん小さいプレゼントだ，私のいとしいメアリー。

❹しかし，あなたは，それをベルトか一足の靴のために使うことができる。あなたの好きなように」

❺彼は横から横に柔らかく動き始めた。

4-12-C「なめらか訳」

❸ほんの小さなプレゼントじゃよ，のぉメアリー。

❹じゃが，ベルトにでも靴一足にでも，好きなように使えるじゃろうが，お前の好み次第に」

❺彼は柔らかく左右に動き始めました。

❻ Little waves of movement ran up his body from his tail to his head.

❼ Suddenly he gave a shake, and his golden outer skin lay on the floor.

❽ He was now wearing a new coat of shining silver.

❾ Marry Poppins was going to pick up the skin.

4-12-B「ガチガチ訳」

❻動きの小さな波が彼の尾から彼の頭までの彼の体を走り上がった。

❼突然，彼はひとつの振動をあたえ，そして彼の金色の外がわの皮膚が床の上に横たわった。

❽彼は今はあたらしい銀色に輝くひとつのコートを着ていた。

❾メアリー・ポピンズはその皮膚を持ち上げようとしていた。

4-12-C「なめらか訳」

❻動きの小さな波がしっぽから頭へと彼の体を**伝わってゆきました。**

❼突然，**体をゆすると，**彼の黄金の外皮が床に横たわっていたではありませんか。

❽彼は今度はかがやく銀のコートを着ているのでした。

❾メアリー・ポピンズはその皮を拾おうとしました。

⑩'Wait,' he said, 'I will write a greeting on it.'

⑪And he ran his tail quickly down the skin, and then gave it to Mary Poppins.

⑫She took it, and bowed to him.

**4-12-B「ガチガチ訳」**

❿「待て」彼は言った。「私はその上にひとつのお祝いを書くだろう」

⓫そして彼は彼の尾をすばやくその皮膚に走りおろした。そしてそれからそれをメアリー・ポピンズにあたえた。

⓬彼女はそれを取った。そして彼におじぎをした。

**4-12-C「なめらか訳」**

❿「待った」と彼は言いました。「そこにお祝いを書こう」

⓫それから彼はその皮の上にすばやくしっぽを走らせてから，メアリー・ポピンズにわたしました。

⓬メアリー・ポピンズはそれを受け取って，おじぎをしました。

⓭‘I just can’t thank you enough,’ she said.

⓮ She was very pleased with her present.

⓯‘Don’t try to thank me,’ said the Hamadryad.

⓰‘Listen! Don’t I hear the bell for the Grand Chain?

4-12-B「ガチガチ訳」

⓭「私はちょうどあなたに十分感謝できない」と彼女は言った。

⓮彼女は彼女のプレゼントに大変うれしかった。

⓯「私に感謝しようとはするな」そのコブラが言った。

⓰「聞け！　私は大きなチェインのためのその鐘を聞かないか？」

4-12-C「なめらか訳」

⓭「私，お礼の申しあげようもありません」と彼女は言いました。

⓮そのプレゼントにとっても喜んだのでした。

⓯「礼などいらんことじゃ」とキング・コブラは言いました。

⓰「お聞き！　わしは大きな輪の［はじまりの］ベルを聞いたんじゃないかの？」

## 4-11-D

### 英文の直訳から、なめらかな日本語にうつしかえる

**Jane and Michael both felt a little afraid of....**
(4-11-A❶)

「ちょっとおそれをいだいた」,「ひるむのを感じた」など,いろんな言い回しを出してみて,ぴったりくるのを選んでみよう。

**The Brown Bear gave them each one of his big, soft knee to sit on.** (4-11-A❸)

ヒグマがひざのそれぞれを二人が座るように差し出した,ということ。to sit onは「するため」というより,ひざを差し出して,and made it possible (for them) to sit on,「(彼らが) 座れるようにした」という感じだな。

**Yes, she is, on the mother's side.** (4-11-A❽)

これは,She is the cousin on the mother's side of him.「彼女は,彼の母方のいとこ」。

**it is a long time since your Birthday was on the Full Moon.** (4-11-A❿)

ここは直訳すると「君の誕生日が満月に重なった時から長い時がたっている」ということで,この前に誕生日と満月が重なってから,という意味。しかし,この夜,まさに誕生日と満月が重なったわけだから,「君の誕生日が満月に重なったのはひさしぶりのこと」とやっても意味の上ではおかしくない。このように言いかえれば,頭から「ひさ

しぶりに君の誕生日と満月が重なった」と訳する。

4-12-D

### enough は「必要なだけ」「ふさわしいだけ」十分だ

**Mary Poppins was going to pick up the skin.**
(4-12-A❾)

この be going to は「(ひろい上げ) ようとした」ということで，意志，行為の状態の中間ぐらいの意味で働いている。

**I just can't thank you enough,** (4-12-A⓭)

「あなたに必要なだけ（ふさわしいだけ）十分感謝することはとてもできない」で，要するに「何とお礼を申し上げていいのやら」「お礼の申し上げようもない」だ。enough は「十分に」だが，「必要なだけ十分に」「ふさわしいだけ十分に」であることを忘れずに。ここでは与えられた親切に相当するだけ感謝することはできないという意味になる。

**Don't I hear the bell....?** (4-12-A⓰)

「私は聞かなかったろうか？」だから「私は聞いたんじゃないか？」だね。現在形だからというので「聞かないのではないか」なんてやらないだろうね？「聞いた」は過去形じゃなく日本語の状態表現，「聞く」は行為，動作の表現。日本語の単語には時制なんてないんだから，この状態と動作の区別の方をよく覚えて使えるようにしなければいけない。

❶ Everybody listened.

❷ A bell was ringing, and a deep voice was calling out, 'Grand Chain! Grand Chain! Everybody, come to the centre for the Grand Chain. Come along, come along.'

4-13-B「ガチガチ訳」

❶すべてのものが聞いた。

❷一つのベルがなっていた。そして一つの深い声が大きな声で叫んでいた。「グランド・チェイン！　グランド・チェイン！　すべてのものグランド・チェインのために中央にこい。添ってこい，添ってこい」

4-13-C「なめらか訳」

❶みんなは耳をすましました。

❷ベルがなって，太く通る声が呼びかけていました。「大きな輪！　大きな輪！　みんな，大きな輪の広場においで。さあおいで，さあおいで」

❸'Now you must be off, my dear,' said the Hamadryad, and he smiled at Mary Poppins.

❹'They will be waiting for you to take your place in the centre.

❺ Good-bye till your next Birthday!' and he lightly kissed her again.

4-13-B「ガチガチ訳」

❸「今，あなたたちは離れなければならない，私のいとしい人」そのコブラが言った。そして彼はメアリー・ポピンズにほほ笑んだ。

❹「彼らはあなたをまん中に，あなたの場所を取るために待っているだろう。

❺さようなら，あなたの次の誕生日まで！」そして彼は彼女にふたたび軽くキスした。

4-13-C「なめらか訳」

❸「さて，おまえも行かなくてはいかん，のぉ」とキング・コブラは言って，メアリー・ポピンズはほほ笑みかけました。

❹「みんなおまえのためにまん中の場所を用意して待っておるじゃろう。

❺さよならじゃ，また次の誕生日までな！」と彼は軽くまたキスをしました。

❻ Without a look at the children Mary Poppins bowed to the Hamadryad and ran off toward the big open field in the middle of the Zoo.

❼ The Brown Bear went off too, and the Hamadryad slid between Jane and Michael and began to go forward with them.

❽ When they came nearer the centre they could hear the noise of the Grand Chain.

## 4-13-B「ガチガチ訳」

❻その子供たちを見ることもなしに，メアリー・ポピンズはそのコブラにおじぎをした。そしてその動物園のそのまん中の大きくあいたその地面に向かって走り出た。

❼そのヒグマもまた出て行った。そしてコブラはジェインとマイケルの間にすべって，そして彼らといっしょに前の方に行き始めた。

❽彼らがそのよりまん中近くに来たとき，彼らはそのグランド・チェインのその騒音を聞くことができた。

## 4-13-C「なめらか訳」

❻子供たちには目もくれず，メアリー・ポピンズはキング・コブラにおじぎをすると，動物園のまん中にある大きな広場に向かって走って行きました。

❼ヒグマも行ってしまい，キング・コブラはジェインとマイケルの間にすべって行って，三人でいっしょに行くことになりました。

❽三人が広場に近づくと，大きな輪のにぎわいが聞こえてきました。

❾ All the animals were shouting and singing as they made a ring round Mary Poppins.

as they made a ring round Marry Poppins.

　この as は様態を示す接続詞。名詞や句がくると like になるが，節の場合の「～のように」は as。「彼らはメアリー・ポピンズのまわりに輪をつくるようにして」となる。

❿ Then they all danced in the Grand Chain — lions and tigers, seals and penguins, goats and wolves, giraffes and monkeys, crocodiles and bears, big birds and small ones.

4-13-B「ガチガチ訳」

❾すべての動物たちは，彼らはメアリー・ポピンズのまわりに一つの輪をつくって，叫び，そして歌っていた。

❿それから彼らはみんなグランド・チェインの中で踊った——ライオンとトラ，アザラシとペンギン，ヤギと狼，キリンとサル，ワニと熊，大きな鳥と小さなそれ。

4-13-C「なめらか訳」

❾動物たちがみんなメアリー・ポピンズのまわりに輪をつくるようにしてはやしたて歌っていました。

❿それからみんなグランド・チェインの輪の中で踊りました。——ライオンとトラ，アザラシとペンギン，ヤギと狼，キリンとサル，ワニと熊，大きな鳥や小さな鳥たちが。

4-13-A

⓫ They sang their jungle songs and gave each other their paws or their wings as they danced round and round.

as they danced round and round.
「ぐるぐる踊る」。こちらの as は同時の時間推移で,
「～しながら」でもいいし「and」でもいい。

4-13-B「ガチガチ訳」

⓫彼らは彼らのジャングルの歌を歌った。彼らはまるく，まるく踊りながら，そして互いに彼らの足と彼らのつばさを与えた。

4-13-C「なめらか訳」

⓫みんな自分たちのジャングルの歌を歌い，前脚やつばさをたがいに取り合って**ぐるぐる**踊りました。

4-14-A

❶ The Penguin danced up to them, bowed to the Hamadryad, and waved his short wings at the children.

The Penguin danced up to them,

「踊り近づく」なんて表現は，日本語ではできないが，dance に up to をつけるとそんなふうになる。英語のおもしろいところだ。ここは「踊りながらやってきた」というところ。

❷ He sang in a high, thin voice,

*'Oh, Mary, Mary,*
*She's my Dearie,*
*She's my Dear-i-o!*

4-14-B「ガチガチ訳」

❶そのペンギンが彼らの方へ踊り上がってきた。そのコブラにおじぎをし，そして彼の短い両翼をその子供たちに振った。

❷彼は高く、細い声で歌った。
「オー，メアリー，メアリー，
彼女は，私の愛する人，
彼女は私の愛する人！

4-14-C「なめらか訳」

❶ペンギンが踊りながらやってきて，キング・コブラにおじぎし，短い翼を子供たちに向かって振りました。

❷ペンギンは高く細い声で歌いました。
「おお，メアリー，メアリー
彼女は私のディアリー（愛する人），
彼女は私のディア・リ・オ！

❸ It's not a very good rhyme, but it will do, it will do,' he said.

it will do,

先の It won't do.（4-08-A3行目）

「ダメ」の反対で「いける」「まあいいだろう」

といった言いまわし。

❹ Jane wanted to ask the Hamadryad something, but she did not know how to do it.

❺ 'I thought,' she began, 'that lions and birds, and tigers and little animals....'

4-14-B「ガチガチ訳」

❸それは，非常によくない韻だ。しかしそれはするでしょう。それはするでしょう」と彼は言った。

❹ジェインは，何かをそのコブラにたずねることをしたかった。しかし彼女は，それをどうやるかを知らなかった。

❺「私は考えた」彼女は始めた。「あの，ライオンたちと鳥たち，そしてトラたちと小さな動物たち……」

4-14-C「なめらか訳」

❸あまりいい韻じゃないけど，いけるでしょう，いけるでしょう」と言いました。

❹ジェインはキング・コブラに聞きたいことがありましたが，どうしたらいいのかわかりませんでした。

❺「私の考えでは」とジェインはきり出しました。「ライオンと鳥，それからトラと小さな動物たちは……」

❻ The Hamadryad helped her.

❼ ‘You thought they were enemies? They must eat each other?

❽ Well, perhaps, but not on the Birthday.

4-14-B「ガチガチ訳」

❻そのコブラは彼女を助けた。

❼「あなたは，彼らは敵だ，と考えた？　彼らは互いに食べなければならない？

❽さて。たぶん。しかし，誕生日の日にではなく。

4-14-C「なめらか訳」

❻キング・コブラは彼女を助け［て言い］ました。

❼「あなたの考えでは，彼らは敵同士。互いに食べ合うのではないか。

❽さよう，時にはな，じゃが誕生日にはそうはせん。

❾ Tonight the small are free from the great.

❿ You live in the City, and we live in the jungle, but we are the same.

⓫ The tree, the stone, the bird, the animal—we are all one.

4-14-B「ガチガチ訳」

❾今夜は，その小さなものたちは，大きなものたちから自由だ。

❿あなたは，シティのなかで生きる。しかし私たちはジャングルで生きる，しかし，私たちは同じものだ。

⓫その木，その石，その鳥，その猛獣――私たちはすべて一つだ。

4-14-C「なめらか訳」

❾今夜は小さなものは大きなものから自由じゃ。

❿あなたは町に住んで，わしらはジャングルに住んでおるが，同じ[生き物]じゃ。

⓫木，石，鳥，動物――わしらはみんな一つのものじゃ。

## ⓬ Remember that, my child, when you no longer remember me.'

my child, when you no longer remember me.

「もう私のことは思い出さなくなっても」my child は my dear と同じで親しみの呼びかけ。ここでは威厳を持たせて，「よいかな」といった感じ。

## ⓭'But how can that be?' cried Michael.

## ⓮'A bird is not me. Jane is not a tiger.'

4-14-B「ガチガチ訳」

⓬あのことを思い出せ，私の子供，あなたたちがもはや私を思い出さないときには」

⓭「しかし，いかにして，あれがあることができるのか？」とマイケルが叫んだ。

⓮「一羽の鳥は私ではない，ジェインは一匹のトラではない」

4-14-C「なめらか訳」

⓬このことは憶えておきなされよ，**よいかな**，わしのことはもう思い出さなくなってからも，［このことは］な」

⓭「でも，どうやってそうなれるの？」とマイケルが叫びました。

⓮「鳥はぼくじゃないよ。ジェインはトラじゃないよ」

❶'Then look at that,' hissed the Hamadryad.

❷They all looked at the ring of dancing animals and birds round Mary Poppins.

❸She was moving from side to side, and the crowd kept time with her.

4-15-B「ガチガチ訳」

❶「それからあれを見ろ」そのコブラはシュウと言った。

❷彼らすべては，メアリー・ポピンズのまわりでの猛獣たちや小鳥たちの踊りの輪を見た。

❸彼女は，側から側へ動いていた，そして，その群衆は彼女といっしょに時間に合わせつづけた。

4-15-C「なめらか訳」

❶「では，あれをごらん」とキング・コブラがシュッシュッと言いました。

❷三人はメアリー・ポピンズをかこむ動物たちと鳥たちの踊る輪をながめました。

❸彼女が左右に動くと，群れがそれに合わせました。

❹ The trees were waving their arms, and the moon was dancing a little up and down.

❺ 'Bird and animal and stone and star—we are all one, all one,' hissed the Hamadryad.

❻ He touched softly first one child, then the other.

4-15-B「ガチガチ訳」

❹その木々は彼らの枝々を波うたせ，そしてその月は小さく上へ下へ踊っていた。

❺「鳥，猛獣，石，そして星――我々はすべて一つだ。一つだ」そのコブラはシュウと言った。

❻彼は最初の子供にやさしくふれて，それから他の一人にふれた。

4-15-C「なめらか訳」

❹木々は枝を振り，月はちょっと上下しながら踊っていました。

❺「鳥も動物も石も星も――わしらはすべてひとつじゃ，ひとつなんじゃよ」とキング・コブラはシュッシュッという声で言いました。

❻彼はやさしく，まず一人の子に，そしてもう一人の子に，さわりました。

❼'Snake and child, star and stone—all are one.'

❽The hissing voice became softer.

❾The cries of the dancing animals were further off.

4-15-B「ガチガチ訳」

❼「ヘビ，そして子供，星そして石――すべては一つ」

❽そのシュウシュウという声は，よりやさしくなってきた。

❾その踊っている動物たちの叫び声は，より離れた。

4-15-C「なめらか訳」

❼「ヘビと子供，星と石――すべては一つなんじゃよ」

❽シュッシュッという声が次第に小さくなりました。

❾踊っている動物たちの声が遠ざかってゆきました。

⑩The soft sideways movement made the children sleepy.

⑪'Asleep and dreaming, both of them,' said a voice over their heads.

Asleep and dreaming, both of them,

ここは Asleep and dreaming are both of them. あるいは they are asleep and dreaming. で「二人とも眠って夢みてる」。そういう声が二人の頭の上から聞えたわけだから「お眠り，夢をごらん，二人とも」となる。

4-15-B「ガチガチ訳」

❿その柔らかいわき道の動きは子供たちを眠たくさせた。

⓫「寝ている，そして夢みている。彼らの両者」彼らの頭の上で一つの声が言った。

4-15-C「なめらか訳」

❿柔らかい横揺れが子供たちを眠くしてゆきました。

⓫「お眠り，そして夢をごらん，二人とも」と声が二人の頭の上で言いました。

⓬ Was it the voice of the Hamadryad, or the voice of their mother when she came to say goodnight to them in the nursery?

⓭'Good, good.' Was that the deep voice of the Brown Bear, or of Mr. Banks?

Good, good.

この状態でいいという意味の使い方。That's all right. と同じと考えていい。日本語で寝ている子供，寝入りばなの子供に言う「よし，よし」にあたるだろう。

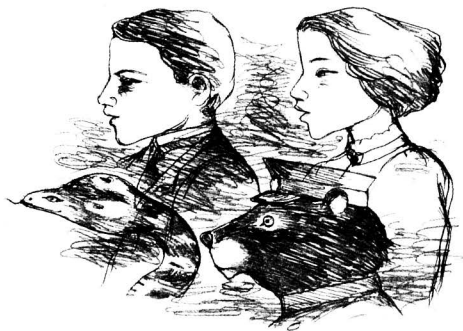
4-15-B「ガチガチ訳」

⓬それはコブラの声だった。あるいは，彼女が子供部屋にきて，彼らにおやすみと言いにきた時のお母さんの声だったか？

⓭「よい，よい」あれはそのヒグマの深い声だったか，あるいはバンクス氏のだったか？

4-15-C「なめらか訳」

⓬それはキング・コブラの声だったのでしょうか，それとも，子供部屋におやすみを言いにきた時の二人のお母さんの声だったのでしょうか？

⓭「よし，よし」それはヒグマの太く通る声，それともバンクスさんの声？

⓮Jane and Michael could not tell...could not tell.

⓯'I had such a funny dream last night,' said Jane at breakfast next morning.

⓰'I dreamed we were at the Zoo, and it was Mary Poppins' birthday, and all the animals were out of their cages....'

4-15-B「ガチガチ訳」

⓮ジェインとマイケルは言うことができなかった……言うことができなかった。

⓯「私は，昨夜，とっても不思議な夢を持った」ジェインが次の朝に朝食で言った。

⓰「私は，私たちがその動物園にいた夢を見た。そしてそれは，メアリー・ポピンズの誕生日だった。そしてすべての動物たちはオリの外に……」

4-15-C「なめらか訳」

⓮ジェインとマイケルは答えられません……だんだん口が重たくなっていったのです。

⓯「私，夕べすごく変な夢を見たわ」とジェインが翌朝の朝食の時に言いました。

⓰「私ね，**私たちは**，動物園にいる夢を見て，それからメアリー・ポピンズの誕生日で，そして動物たちがみんなオリを抜け出ていて……」

❶'Why, that's *my* dream. I dreamed that too!' said Michael in a surprised voice.

❷'Could we have dreamed the same dream, Mary Poppins?' asked Jane.

❸'You and your dreams,' sniffed Mary Poppins.

4-16-B「ガチガチ訳」

❶「なぜ，あれは，私の夢だ。私もまたあれを夢見た！」驚いた声でマイケルが言った。

❷「私たちは同じ夢を見ることができたか，メアリー・ポピンズ？」ジェインがたずねた。

❸「あなたたちとあなたの夢たち」メアリー・ポピンズは鼻をすすった。

4-16-C「なめらか訳」

❶「どうしてなの。それはぼくが見た夢だよ。ぼくだってそれ見たもん！」とマイケルが驚いた声で言いました。

❷「二人で同じ夢を見たりできるの，ねえメアリー・ポピンズ？」とジェインがたずねました。

❸「**あなたはあなたの夢を見るのよ**」とメアリー・ポピンズは鼻であしらいました。

## ❹'Go on eating your breakfast, please.'

Go on eating your breakfast, please.

「食べ続けろ」ということだが，中途であれこれしないで「食べ終えるまで食べ続けろ」つまり「食べてしまいなさい」でいい。please はもちろん「どうぞ」ではない。こんな場面で言う言葉だから「さぁ，さぁ」とせき立てる言い方だ。

## ❺'Mary Poppins,' said Jane loudly, 'were you at the Zoo last night?'

4-16-B「ガチガチ訳」

❹「どうぞ自分の朝食をたべ続けて」

❺「メアリー・ポピンズ」とジェインが大きな声で言った。「あなたは，昨晩，その動物園にいたか？」

4-16-C「なめらか訳」

❹「朝食を食べてしまいなさい，さあさあ」

❺「ねえメアリー・ポピンズ」とジェインは大声で言いました。「あなた夕べ動物園にいたでしょ」

❻ Mary Poppins sniffed more sharply than before.

❼'At the Zoo? Me? In the middle of the night?

❽ This nursery gives me all the Zoo I want!'

4-16-B「ガチガチ訳」

❻メアリー・ポピンズは，前よりも，もっと強く鼻をすすった。

❼「動物園で？ 私が？
真夜中に？

❽この保母室は，私に私がほしいすべての動物園を私に与える！」

4-16-C「なめらか訳」

❻メアリー・ポピンズは前より激しく鼻をうごかしました。

❼「動物園にですって？ 私が？
真夜中に？

❽子供部屋の方が**私にはよっぽど動物園だわ！**」

## ⑨ She sniffed again. ‘Zoo, you say!’

Zoo, you say!
「動物園，あなたが言ってるんですからね」，くだけて言うと「よく言うわ」みたいな感じだ。つまり come on！と同じ。come on と言っても「来い」ではないよ。「何言ってんの」とか「カンベンしてよ」みたいな言い方だ。

## ⑩ But Michael touched Jane’s arm.

## ⑪ ‘Look!’ he said, ‘look, Jane!’

4-16-B「ガチガチ訳」

❾彼女はふたたび鼻をすすった。「動物園，あなたは言う！」

❿しかし，マイケルはジェインの腕にふれた。

⓫「見ろ！」彼は言った。「見ろ，ジェイン！」

4-16-C「なめらか訳」

❾彼女はまた鼻をピクつかせました。「動物園とはね！」

❿でもマイケルはジェインの腕にさわりました。

⓫「見て！」マイケルは言いました。「見て，ジェイン！」

⑫ Mary Poppins was wearing a belt of gold snake-skin.

⑬ And they could read on it, in snaky writing,

A PRESENT FROM THE ZOO

in snaky writing

直訳すれば「ヘビ風に書かれたもの」だが「くねくねした字」という意味になるだろう。なにせ，キングコブラが尻っぽで書いたんだから。

4-16-B「ガチガチ訳」

⓬メアリー・ポピンズはひとつの黄金の蛇皮のベルトをつけていた。

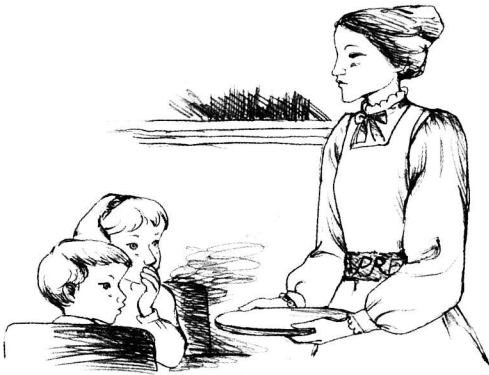
⓭そして彼らは，その上にヘビのようにくねった書体文字を読むことができた。

動物園からの贈り物

4-16-C「なめらか訳」

⓬メアリー・ポピンズが黄金色のへび皮ベルトをつけていたのです。

⓭そして二人にはその上に**くねくねした字**が読めたのでした。

**動物園からのプレゼント**

## 4-14-D

**文頭のYou thought（彼は考えた）が以下の文までかかっている例**

**You thought they were enemies?**
**They must eat each other?** (4-14-A ❼)

ここはYou thought that....,didn't you?「君は，彼らが敵同士だと考えていたんだろう？　彼らはたがいに食べ合うに違いないって（考えていたんだろう）？」という意味。They mustの方にもYou thought が生きている。

## 4-15-D

**keep timeで，「拍子」や「速度」を「合わせた」だ**

**the crowd kept time with her.** (4-15-A ❸)

この場合の time は拍子とか速度とかの意味で，群れが彼女の動きに「合わせた」ということ。

**The hissing voice became softer.** (4-15-A ❽)

「次第に低く，小さくなった」。

**ジェインとマイケルは夢の中の世界にいたのだろうか**

**Jane and Michael could not tell....** (4-15-A ⓮)

could not tell その頭の上に聞こえる声が，誰の声なのか，「ジェインとマイケルには言えなかった，答えられなかった」。つまり，誰の声ともつかない声，彼らにはそれ

が誰の声かわからなかった，ということ。とても眠くて，でもそれは夢の中のことなのか，それともそうではなくて実際の子供部屋の中のことなのか，もううまく区別することもできないし……。

4-16-D

ジェインとマイケル相手に
メアリーはとぼけて言った

**'You and your dreams' sniffed Mary Poppins.**
(4-16-A❸)

これは，It is you to dream your dreams. あるいは It is you who dream your dreams. だろう。つまり，「あなたの夢を見るのはあなただ」「あなたがあなたの夢を見るのだ」。二人で同じ夢を見ることはできるのか，という問いに，答えずに，あたりまえのことを言って，つっぱねたわけ。

Point 43

# 「現在進行形」や「現在完了形」を怖がるな！

「進行形」や「完了形」という言い回しは、
日本人にはそもそも理解できない表現なのだ。
だから....。

**I go to school.**
私は学校に行く。

ここでは，I go to school.（私は学校に行く）という例文を，「進行形」と「完了形」に変化させて，さらに，「否定文」と「疑問文」にも変化させてみて，私たちが，どこで，まちがいをおかしやすいのかを観察してみましょう。

| 正しい文 | | 絶対にダメな文<br>［これを書くと<br>人生におちこぼれる］ |
|---|---|---|
| ①〔普通の文〕<br>②〔進行形の文〕<br>③〔②の否定文〕<br>④〔②の疑問文〕<br>⑤〔①の疑問文〕 | I go to school.<br>I am going to school.<br>I am not going to school.<br>Am I going to school?<br>Do I go to school? | I don't am going to school.<br>ではない<br>Do I am going to school? |
| ①〔普通の文〕<br>②〔現在完了形の文〕<br>③〔②の否定文〕<br>④〔②の疑問文〕 | I go to school.<br>I have gone to school.<br>I have not gone to school.<br>Have I gone to school. | I don't have gone to school.<br>Do I have gone to school? |
| 進行形と完了形の合体→完了進行形の文 | | ✕ |
| ①〔完了進行形の文〕<br>②〔①の否定文〕<br>③〔①の疑問文〕 | I have been going to school.<br>I have not been going to school.<br>Have I been going to school. | I am have going to school.<br>I don't have been going to school.<br>Do I have been going to school. |
| 新たにI love youを例文にして、その進行形と完了形が受動態になった文→現在完了進行受動態の文 | | |
| ①〔普通の文〕<br>②〔完了進行形の文〕<br>③〔②の受動態〕<br><br>④〔③の否定文〕<br><br>⑤〔③の疑問文〕 | I love you.<br>I have been loving you.<br>You have been being loved by me.<br>You have not been being loved by me.<br>Have you been being loved by me? | これ以外はもう<br>どう並べてもまちがい！ |

これで，みなさんにも「進行形」と「完了形」のおそろしさが，じわっ，とわかってもらえたことと思います。ついでに「受動態」のことも。

そして，皆さんは，「進行形」と「完了形」の文の練習を，英語の授業でさんざんやらされたわけですね。それで，はたしてどうなりましたか？　英語というものが，身近に感じられるようになりましたか？　その逆に，いよいよ英語がキライになってしまいませんでしたか？　だから，これから私の言いたいことを，よく聞いて下さい。

「進行形」や「完了形」という言い回しは，なるべくなら，使わない方がいいのです。考え込まない方がいいのです。こんな複雑な文章の作りかえを覚え込む必要があるのでしょうか。ここのところを日本人はみんなでよく考えるべきではないでしょうか。たった「学校に行った」というだけの内容を，「現在完了進行形」などという，バカらしい文章の形で理解する必要が，私たちにあるのでしょうか。ないのです。

ただ，英文の中に出てくる「進行形」や「完了形」が，なるほど，なるほど，とわかりさえすればそれでいいのです。

どの動詞の場合には，進行形になるか，完了形にならないか，というような，くだらないキマリばかりをいくら覚えても，何にもならないではないですか。だから，私は「進行形」と「完了形」はケットバセと考えているのです。こんなもののおかげで，日本人の英語の勉強は，どれだけ，災難にあってきたことでしょう。その理由は，

第一に，ヨーロッパの他の国語には，「進行形」というのはないこと。「完了形」のことは「複合過去」（ドイツ語）とか「大過去」（フランス語）とか言いますが，これは，「完了」というようなイミではないこと。

第二に，アメリカとイギリスの作家や学者の人たちの中でも秀れた人たちというのは，「進行形」や「完了形」をやたらと使わないのです。イギリスの作家ジョージ・オーウェルや，アメリカの経済学者ガルブレイスの文章などは，かんたんな書き方をしているのです。彼らは，「現在形」か「過去形」か，そのどちらかを使って書くことが多いようです。

第三に，したがって，英語に関して外国人である私たち日本人もなるべく，「現在形」か「過去形」を使ってすますようにして，ただ読むときにだけ，進行形と完了形が読めればよいわけです。そして，たとえ英文が進行形になっていなくても，現在形の文であっても，日本語の「〜ている」という語をおぎないながら読むべきなのです。

この考えからすると，この本のテキストである英文には，ちょっと，現在進行形の文が多すぎて，目ざわりで幼稚な感じがする，と申しておかねばなりません。例えば過去進行形の文 “He was saying.” というような箇所は，私たちの頭の中では，He said.「彼は言った」という風に，どんどん置き換えられて読みすすめていくべきなのだと，思います。

進行形・完了形。彼らはなんてイヤなやつなんだろう。私たちの頭を，こんなに混乱させてしまって。

春のはじめ，風が西風になって
ジェインとマイケルは“あること”を
予感してしまうのだった……。
風が舞って――

5-01-A

❶ It was the first day of Spring.

❷ Jane and Michael knew this at once, because they heard Mr. Banks.

❸ He was singing in his bath, and there was only one day in the year for *that*.

5-01-B「ガチガチ訳」

❶それは春のもっとも最初の日だった。

❷ジェインとマイケルはこれをただちに知った。なぜなら彼らはバンクス氏を聞いた。

❸彼は彼の湯ぶねの中で歌っていた。そして，あれのための一年のうちでただ一つの日があった。

5-01-C「なめらか訳」

❶春の初めの日でした。

❷ジェインとマイケルにはいっぺんでそのことがすぐにわかりました。というのも，バンクスさんの声が聞こえたからでした。

❸バンクスさんはお風呂で歌っているところでしたが，そんなことは一年のうちただ一日しかなかったのです。

❹ And then Mr. Banks lost his black bag with his papers in it.

❺ Everyone looked for it—Ellen and Mrs. Brill and the children, and Robertson Ay came in from the garden to help.

5-01-B「ガチガチ訳」

❹そして，それから，バンクス氏はその中に彼の書類がいっしょの彼の黒いバッグをなくした。

❺すべての人がそれをさがした。エレンとブリル夫人と子供たち。そしてロバートソン・アイが助けるために庭から入ってきた。

5-01-C「なめらか訳」

❹それからバンクスさんは書類を入れた黒かばんを置き忘れました。

❺誰もがそれをさがしました――エレンとブリル夫人と子供たち，それからロバートソン・アイも庭から助けに入ってきました。

❻ When at last Mr. Banks found it, he blew his nose very hard, took his hat, and then he looked at his coat.

❼ He went to the front door and sniffed the air.

❽ 'The wind's in the West, I think,' he said and looked down Cherry Tree Road to Captain Boom's flag.

looked down Cherry Tree Road to....

ここのdownは「下へ，降りて」の意味ではなく，「ずっと，～に至るまで」という連続を示す副詞として用いられている。The history of Japan down to Edo era.「江戸時代までの日本の歴史」といった用法のdown。

5-01-B「ガチガチ訳」

❻ついにバンクス氏がそれを見つけたとき，彼は彼の鼻を非常に強くふいて，彼の帽子を取って，そしてそれから彼は彼のコートを見た。

❼彼は玄関の方に行き，そして空気を鼻ですった。

❽「風は西の中にある，私は思う」彼は言った，そして桜の木通りを見おろして，ブーム艦長の旗の方を見た。

5-01-C「なめらか訳」

❻とうとうバンクスさんがそれを見つけると，大きく鼻をかんで帽子を取り，コートを見ました。

❼彼は表のドアへ行き，空気をかぎました。

❽「風向きは西だな，**きっと**」と言って，桜の木通りをブーム船長の［家の］旗の方へと**ながめやり**ました。

❾'H'm, yes, a nice warm day. I won't take my coat.' And he hurried away to the City.

H'm, yes, a nice warm day.
「フム」という擬音だ。yesは「西風だと思ったがまさにそのとおりだ」というyes。

❿'Did you hear that?' Michael said to Jane.

⓫'Yes, the wind's in the west,' she said slowly.

5-01-B「ガチガチ訳」

❾「フム，そう，よい暖かい一日。私は私のコートを着ることはない」そして，彼はシティの方へ急いで行った。

❿「あなたはあれを聞いたか？」マイケルがジェインに言った。

⓫「はい，風が西の中にある」彼女はゆっくりと言った。

5-01-C「なめらか訳」

❾「ふむ，**あたり**，天気の良い暖かな日だ。コートはいらないな」そしてバンクスさんはシティへと急ぎました。

❿「聞いた？」とマイケルがジェインに言いました。

⓫「ええ，風は西向き」とジェインはゆっくりと言いました。

⑫ Neither of them said any more, but one thought lay at the backs of their minds.

⑬ They forgot it, however, during the morning.

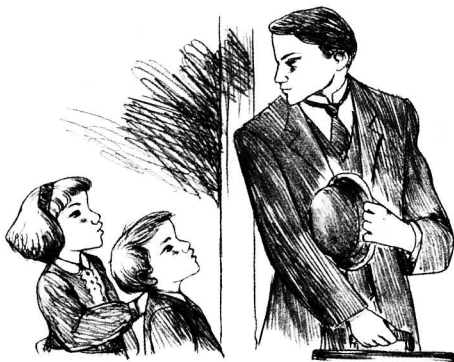
5-01-B「ガチガチ訳」

⓬彼らは両方ともそれ以上言わなかった。しかし，ひとつの考えが彼らの心たちの後ろに横たわった。

⓭彼らはそれを忘れた，しかしながら，その朝の間。

5-01-C「なめらか訳」

⓬二人ともそれ以上は言わなかったのですが，ある思いが二人の心の奥にわだかまっていました。

⓭でも二人は，朝のうち，それを忘れていたのでした。

⓮Jane was working in the garden when Michael ran out to her, very red in the face.

⓯'Look, Jane, look!' he cried, and held out a shaking hand.

⓰On it lay six of Mary Poppins' postcards.

5-01-B「ガチガチ訳」

⓮ジェインはマイケルが顔の中を非常に赤くして，彼女の方に走り出たとき，庭の中で仕事をしていた。

⓯「見ろ，ジェイン見ろ！」彼は叫んだ，そしてひとつのふられている手をさしだした。

⓰その上には6枚のメアリー・ポピンズの絵ハガキが置いてあった。

5-01-C「なめらか訳」

⓮ジェインが庭で働いていると，マイケルがかけ寄ってきました，顔を真っ赤にして。

⓯「見て，ジェイン，見て！」彼は大声をあげ，ふるえる手を差し出しました。

⓰手の上にはメアリー・ポピンズの6枚のハガキがのっていました。

5-02-A

❶'She gave them to me,' said Michael.

❷He was almost crying.

❸'There must be something wrong. What is going to happen? She has never given me anything before.'

There must be something wrong.

wrong は善悪の「悪」ではなく、「間違った」の意味。

「何かよくないことがあるんだ」。must は確信を表す。

5-02-B「ガチガチ訳」

❶「彼女が私にこれらを与えた」マイケルが言った。

❷彼はほとんど泣いていた。

❸「なにか悪いことがあるに違いない。何が起ころうとしているのか。彼女は以前，私になにかを与えたことはなかった」

5-02-C「なめらか訳」

❶「彼女がぼくにくれたんだよ」とマイケルは言いました。

❷いまにも泣き出しそうでした。

❸「何かよくないことがあるんだよ。どうした何が起こるんだろう？　今まで何もくれたことなんてなかったのに」

5-02-A

❹'Perhaps she wanted to be nice,' said Jane.

❺But she knew very well that Mary Poppins never tried to be nice to them.

❻But that day Mary Poppins said very little.

...said very little.

little は否定に非常に近い副詞で「ほとんど何も言わなかった」。

5-02-B「ガチガチ訳」

❹「たぶん，彼女はよくなりたかった」ジェインは言った。

❺しかし彼女は，メアリー・ポピンズが彼らに対してよくなろうとけっして試みたことがないことを非常によく知っていた。

❻しかし，あの日メアリー・ポピンズは非常に小さく言った。

5-02-C「なめらか訳」

❹「きっといい人と思われたかったのよ」とジェインは言いました。

❺でもジェインはよくわかっていたのです。メアリー・ポピンズが二人にやさしくしようなんてしたことはなかった，と。

❻ところでその日，メアリー・ポピンズはほとんどしゃべりませんでした。

❼ She was thinking deeply, and she did not hear their questions.

❽ At last Michael cried out, 'Oh please get angry with us, Mary Poppins!

❾ It is not like you to be so nice. Is there anything wrong?'

5-02-B「ガチガチ訳」

❼彼女は深く考えていた，そして彼女は彼らの質問たちを聞かなかった。

❽ついにマイケルは叫び出した。「オオ，私たちを怒ってください。メアリー・ポピンズ！

❾そうよくなることはあなたらしくない。何か悪いことがあったのか？」

5-02-C「なめらか訳」

❼彼女は深く考え込んでいて，二人の質問など聞こえなかったのです。

❽ついにマイケルが絶叫してしまいました。「お願いだよ。ぼくたちを怒ってよ，メアリー・ポピンズ！

❾そんなによい人ぶるのは似合わないよ。何かよくないことがあるの？」

⑩'If you look for something wrong, you will find it!' said Mary Poppins in her usual sharp way.

⑪And Michael felt better.

⑫That evening the wind became stronger and wilder and blew noisily round the house.

5-02-B「ガチガチ訳」

❿「あなたが何か悪いことをさがしているなら，あなたはそれを見つけるでしょう！」メアリー・ポピンズは彼女のいつものような鋭い道で言った。

⓫そしてマイケルはよりよく感じた。

⓬あの夜，風はさらに強くそしてさらに荒々しくなった。そして家のまわりをうるさく吹いた。

5-02-C「なめらか訳」

❿「何かよくないことを知っているんだったら，自分で分かるはずでしょう！」とメアリー・ポピンズはいつもの鋭い調子で言いました。

⓫それで，マイケルは気分がよくなりました。

⓬夕方になって，風は強く激しくなり，家のまわりをそうぞうしく吹きあれました。

⓭ After supper Mary Poppins made the nursery clean again.

⓮ She stood at the window for a minute.

⓯ Then she put one hand lightly on Michael's head and the other on Jane's.

5-02-B「ガチガチ訳」

⓭夕食の後，メアリー・ポピンズは子供部屋をふたたびきれいにした。

⓮彼女は一分の間窓のところに立った。

⓯それから彼女はひとつの手をそっとマイケルの頭の上に，そして他のものをジェインのものの上においた。

5-02-C「なめらか訳」

⓭夕食の後，メアリー・ポピンズは子供部屋をもう一度きれいにしました。

⓮彼女は窓辺にほんのしばらくの間立ちました。

⓯そしてマイケルの頭に一方の手を，ジェインの頭にもう一方の手を軽く置きました。

⑯'Now,' she said, 'I am just going to take the shoes down for Robertson Ay. Be good, please, until I come back.'

⑰ She went out and shut the door quietly behind her.

shut the door quietly behind her.

自分の後ろで「behind her」, ドアを静かにしめた。
「後ろ手に」という表現が適当だろう。

5-02-B「ガチガチ訳」

⑯「今」彼女は言った。「私はロバートソン・アイさんのために，靴たちをちょうど置きに行こうとしている。よくなれ，どうぞ，私が帰ってくるまで」

⑰彼女は出て行った。そしてドアを彼女の後で静かにしめた。

5-02-C「なめらか訳」

⑯「さて」と彼女は言いました。「私はちょっとロバートソン・アイのところへ靴を持って行くことにします。いい子にしていなさい，いいですね。私がもどるまで」

⑰彼女は部屋を出てドアを後ろ手に静かにしめました。

## Point 44

# would や should を使った丁寧表現を覚えよう

**“Would you please open the window?**
**Could**

窓を開けていただけませんか。

**Should I open the window?**
**May**
**(Might)**

窓を開けてもよろしいですか。

この would を「窓を開けただろうか」, could を「窓を開けることができただろうか」と訳すのは明らかにおかしいですね。

これらの would, could, should, might は，それぞれがただ単に will, can, shall, may の過去形だというわけにはいかないのです。この would や could というのは実は「仮定法の文」の一部分であると考えられる場合が多いのです。そして,「仮定法」というのは，ただ「もし〜ならば〜だ」という意味ではなくて，英語の実際の働きのなかでは「〜じゃないのかな」「〜しましょうよ」とか「〜なんだけどなあ」というような，やわらかい，ふくらみのある表現法なのです。だから,「あなたはどうぞ窓を開けたでしょうか」というような変な直訳になるはずがなくて，やはり,「どうか，窓をお開けいただけませんか」という丁寧な依

頼の表現になるのです。

この四つの語には日本語の敬語の働きと同じ働きがあるのです。人間の細やかな心理を表明しようとするときに必ず使うコトバです。だから，実際の「英会話」の勉強では，この would, should, might, could の使い方が非常にたくさん出てくるわけですね。

このテキストの原文忠実訳がどうもおかしいなあと感じられる理由のひとつに，この「未来を表わす助動詞の過去形」の問題が横たわっているのです。

❶ Both Michael and Jane wanted very much to run after her, but in some way they couldn't do it.

❷ They sat at the table and waited for her to come back.

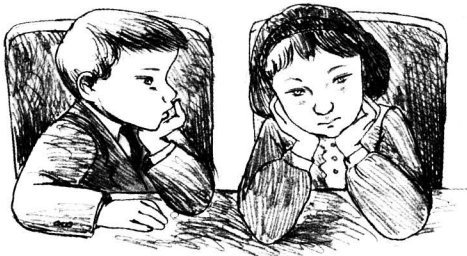
5-03-B「ガチガチ訳」

❶マイケルとジェインのどちらとも非常にたくさん彼女の後を走ることを欲した。しかし，いくつかの道の中で，彼らはそれをすることができなかった。

❷彼らはテーブルに座った。そして彼女が帰ってくるのを待った。

5-03-C「なめらか訳」

❶マイケルもジェインもどんなにか，後を追って行きたかったことでしょう。やっとのことでそうすることをあきらめました。

❷二人はテーブルについて，彼女が帰るのを待ちました。

❸ The nursery was quiet. They could hear the clock and the small hissing from the fire, and that was all.

❹ At last Michael said, 'She's been gone a very long time, hasn't she?'

She's been gone a very long time,

She has been gone. これは She is gone.「彼女は去った」の完了形。be gone は受動形ではなく，be＋形容詞化された過去分詞の形。ここは She was gone……と扱ってかまわない。「彼女はとても長い間行ってしまったままだ」，つまり「行ったきりずい分長い時間がたつ」。

5-03-B「ガチガチ訳」

❸子供部屋は静かだった。彼らは時計の音，そして小さなシュウという音が火から聞くことができた。そしてあれがすべてだ。

❹ついにマイケルが言った。「彼女は非常に長い時間行ってしまったね？」

5-03-C「なめらか訳」

❸子供部屋は静かでした。時計の音と暖炉の火のかすかな音が聞こえました。そしてそれだけでした。

❹とうとうマイケルが言いました。「行ったきりずい分長くない？」

❺ In answer to him, the wind cried more loudly round the corners of the house.

In answer to him,
「彼のその問いに答えて」の意味。

❻ Suddenly they heard a loud bang at the front door.

❼ They ran quickly to the window and looked out.

**5-03-B「ガチガチ訳」**

❺彼に対する答えの中で，風は家の角たちのまわりをよりうるさく叫んだ。

❻突然，彼らは玄関のところでひとつの大きなバーンという音を聞いた。

❼彼らは窓のところへすばやく走った。そして外を見た。

**5-03-C「なめらか訳」**

❺それに答えて，風が家の**まわり**で一層そうぞうしく音をたてました。

❻突然，二人は，表のドアのあたりで大きなバーンという音がするのを聞きました。

❼二人は急いで窓にかけよって，外を見ました。

❽ Down there, just outside the front door, stood Mary Poppins, in her coat and hat, with her bag in one hand and her umbrella in the other.

❾ The wind was blowing about her.

❿ It was shaking her hat and pulling at her skirt ; but she was smiling.

5-03-B「ガチガチ訳」

❽そこの下に，ちょうど玄関の外側に，メアリー・ポピンズが彼女のコートとそして帽子の中に一つの腕の中に彼女のバックをそして他の中に彼女の傘といっしょに立っていた。

❾風が彼女のまわりに吹いていた。

❿それは彼女の帽子をゆすって，そして彼女のスカートをひるがえさせた。しかし，彼女はほほ笑んでいた。

5-03-C「なめらか訳」

❽下の方，ちょうど表のドアの外に，メアリー・ポピンズが立っていました。コートを着，帽子をかぶって，片手にバッグもう一方の手に傘を持って。

❾風は彼女に吹きつけていました。

❿帽子をゆらし，スカートを引っぱっていました。でも彼女はほほ笑んでいるのでした。

5-03-A

⓫ Then she opened her umbrella and held it up over her head.

⓬ The wind blew strongly under it.

⓭ Mary Poppins held on, and the wind took the umbrella, and Mary Poppins with it, up into the air.

up into the air

「空中へ昇っていった」. come あるいは rise, shoot といった動詞が省略されているので, それを補って考える。

## 5-03-B「ガチガチ訳」

⓫それから，彼女は彼女の傘を広げてそしてそれを彼女の頭の上に持ち上げた。

⓬風がその下で強く吹いた。

⓭メアリー・ポピンズはしがみついた。そして風はその傘を取った。そしてメアリー・ポピンズはそれといっしょに，風の中に上がって行った。

## 5-03-C「なめらか訳」

⓫それから傘を開いて，頭の上にさしました。

⓬風がその下から強く吹き上げました。

⓭メアリー・ポピンズは傘をしっかりとにぎりしめ，風がそれをとらえ，それとともにメアリー・ポピンズは空中へ昇っていきました。

5-03-A

⑭ The wind carried her along the garden path and swept her upward, as high as the trees of Cherry Tree Road.

5-03-B「ガチガチ訳」

⓮風は彼女を庭の小道に添って運んだ。そして彼女を上のほうに，桜の木通りの木々と同じぐらいの高さに吹き上げた。

5-03-C「なめらか訳」

⓮風は彼女を庭の道沿いに運び，上の方へ吹きさらっていきました。桜の木通りの木々の高さまで。

5-04-A

❶'She's going away, Jane, she's going away!' cried Michael.

❷'Quick, let's get the twins,' said Jane.

Quick, let's get the twins,

この get は take あるいは bring。「早く，双子の赤ちゃんたちを連れてくるのよ」。

❸'They must see her for the last time.'

5-04-B「ガチガチ訳」

❶「彼女は行ってしまう。ジェイン，彼女は行ってしまう！」マイケルが叫んだ。

❷「早く，双子を持って」ジェインが言った。

❸「彼らは最後に彼女を見なければならない」

5-04-C「なめらか訳」

❶「彼女，行っちゃうよ，ジェイン，行っちゃうよ！」マイケルが叫んでました。

❷「早く，赤ちゃんたちを連れてくるのよ」とジェインが言いました。

❸「赤ちゃんたちにも彼女の最後の姿を見**せてあげなくちゃ**」

❹ They each picked up a twin from their beds and carried them in their arms to the window.

❺ Mary Poppins was high in the air now.

❻ The wind was carrying her over the trees and the roofs of the houses.

5-04-B「ガチガチ訳」

❹彼らは互いに双子を彼らのベットから取り上げ，そして彼らを彼らの両腕の中にして窓のところへ運んだ。

❺メアリー・ポピンズは今では空気の中の高くにいた。

❻風は彼女を木々，そして家々の屋根たちの上に運んでいた。

5-04-C「なめらか訳」

❹二人はそれぞれ双子を一人ずつベッドから取り上げ，腕に抱いて窓まで連れていきました。

❺メアリー・ポピンズは［もう］空中高くのぼっていました。

❻風は彼女を木々と家々の屋根を越えて運んでいました。

❼ She still held on to her bag with one hand and to the umbrella with the other.

She still held on to her bag with one hand and to the umbrella with the other.

こういう表現にイラ立たないで，おもしろがれるといいんだけれどね。held on だけが動詞だが，日本語に訳す時は，一方の手でバッグを「にぎり」，他方の手で傘に「すがる」と動詞を二つ使った方が自然な感じになる。

❽ The children opened the window and shouted, 'Mary Poppins! Mary Poppins, come back!' but she did not hear them.

5-04-B「ガチガチ訳」

❼彼女はまだ一つの手といっしょに彼女のバックをそして，他のものといっしょに傘をかかえた。

❽子供たちは窓を開けてそして叫んだ。「メアリー・ポピンズ！　メアリー・ポピンズ　もどってこい！」しかし彼女は彼らのものを聞かなかった。

5-04-C「なめらか訳」

❼彼女はあいかわらず片手でバッグをにぎり，もう一方の手で傘にすがっていました。

❽子供たちは窓をあけ，叫びました。「メアリー・ポピンズ！　メアリー・ポピンズ，もどってよー！」でも彼女には聞こえませんでした。

❾ She went on up and up into the air, and then over a hill and they could not see her any more.

❿ They could only hear the noisy wind.

⓫ 'Well, she stayed until the wind changed,' said Jane.

5-04-B「ガチガチ訳」

❾彼女は上に行った。そして空の中に上がった。そしてそれから丘の上を越えて，そして彼らは彼女をそれ以上見ることができなかった。

❿彼らはうるさい風しか聞くことができない。

⓫「では，彼女は風がかわるまでとどまった」ジェインが言った。

5-04-C「なめらか訳」

❾彼女は空中へどんどん上がって行き，それから丘を越えて行ってしまうと，もはや子供たちには見えなくなりました。

❿ただそうぞうしい風が聞こえるだけでした。

⓫「でも，彼女，風が変わるまで**いてくれた**んだわ」とジェインは言いました。

⓬ She put John back into bed.

⓭ Michael was sniffing and crying as he put Barbara into hers.

5-04-B「ガチガチ訳」

⓬彼女はジョンをベットの中に置きもどした。

⓭マイケルは，鼻をすすらせ，そして叫んでいた。彼はバーバラを彼女のものの中に置きながら。

5-04-C「なめらか訳」

⓬ジェインはジョンをベッドにもどしました。

⓭マイケルは鼻をすすり，泣き**ながら**バーバラをベッドにもどしました。

❶ They heard voices on the stairs and then Mrs. Banks came into the nursery.

❷ 'Children, children,' she said, 'I'm really very angry.

❸ Mary Poppins has left us.

5-05-B「ガチガチ訳」

❶彼らは床の上で声を聞いた。そしてそれからバンクス夫人が子供部屋に入ってきた。

❷「子供たち，子供たち」彼女が言った。「私はほんとうに非常に怒っている。

❸メアリー・ポピンズは私たちを残して行った。

5-05-C「なめらか訳」

❶階段のところで声を聞いて，バンクス夫人が子供部屋に入ってきました。

❷「みんな，みんな」夫人は言いました。「私はとっても怒ってるんですよ。

❸メアリー・ポピンズが出て行ってしまって。

❹ One minute she was here and the next minute she wasn't.

❺ It's a terrible thing to do to me....' Then she said, 'What is it, Michael?' because Michael was pulling at her skirt.

5-05-B「ガチガチ訳」

❹一分前に彼女はここにいた。そして次の一分間で彼女はいなかった。

❺それは私にひとつのおそろしいことをすること……」それから彼女は言った。「それは何か，マイケル？」なぜならマイケルが彼女のスカートを引っぱっていたから。

5-05-C「なめらか訳」

❹いまここにいたかと思ったら，もういないんですからね。

❺なんてことでしょう……」それから夫人は言いました。「何ですか，マイケル？」というのはマイケルがスカートを引っぱっていたのです。

❻'Did she say.... Is she coming back? Did she say that?' Michael could only speak with difficulty.

Michael could only speak with difficulty.
「やっとのことで」と with difficulty は訳す。

❼'Don't pull at me like that,' said his mother.

❽'I won't have her back if she comes. To leave me like that...without any help....'

if she comes.
ここは even if の意味で，「としても」。だから「たとえ彼女が来ても」の意味。そこで I won't have her if she comes back と置きかえ，「もし帰ってきても，私はもう許しません」と意志を強調した表現にしてもいい。

5-05-B「ガチガチ訳」

❻「彼女は言ったか……彼女はもどってくるか？　あれを彼女は言ったか？」マイケルは困難といっしょにただしゃべれただけだった。

❼「あのように私をひっぱるな」彼の母親が言った。

❽「私は彼女が来ても彼女をもどさないだろう。あのように私をおいていくこと……なんのたすけもなしに」

5-05-C「なめらか訳」

❻「言ったの？……彼女帰って来る？　そう言ったの？」マイケルは話すのがやっとでした。

❼「そんなに引っぱらないで」とお母さんが言いました。

❽「たとえ［帰って］**来るといっても**私が許しません。私をほったらかしにするなんて，こんな風に……私を支える気もなしに……」

5-05-A

❾Jane began to cry, and Michael threw himself on the floor.'

❿'Mary Poppins is the only person I want in the world!' he cried.

⓫'Now, children, try to be good.

children, try to be good.
「いい子にしなさい」の意味。

5-05-B「ガチガチ訳」

❾ジェインが泣き始めた。そしてマイケルは彼自身を床の上に投げた。

❿「メアリー・ポピンズは私が世界の中で欲しいゆいいつの人だ！」彼は叫んだ。

⓫「今，子供たち，よくなるように試みろ。

5-05-C「なめらか訳」

❾ジェインは泣き出し，マイケルは床に［泣き］ふしました。

❿「ぼくが世界中で**欲しいのは**メアリー・ポピンズ**だけだよ！**」と叫びました。

⓫「さあ，みんな，いい子になさい。

⓬ I'm afraid I don't understand you....I'll send Mrs. Brill up to put you to bed,' and Mrs. Banks went away.

5-05-B「ガチガチ訳」

⓬私はおそれている，私はあなたを理解できない。私はブリル夫人をあなたたちをベットに置くためにおくりあげるだろう」そしてバンクス夫人は行ってしまった。

5-05-C「なめらか訳」

⓬残念だけど私にはあなたたちが何を言っているのかわかりません……ブリル夫人に来てもらってあなたたちをベッドに寝つかせます」と，バンクス夫人は出て行ってしまいました。

5-06-A

❶ Mrs. Brill was sorry for them.

❷ 'She had a heart of stone, that girl. She never spoke to us—and she's left nothing behind to remember her by.

she's left nothing behind to remember her by.

left behind は「後に残す」。名詞を to 不定詞で直接修飾する場合，ここの by のように前置詞が後ろにつくことがあるが，これは nothing by which you can remember her からくる by。形容詞用法の不定詞が，関係代名詞の代用として用いられる場合に，こういうことが起きる。

5-06-B「ガチガチ訳」

❶ブリル夫人は彼らに対して悲しかった。

❷「彼女は石の心を持っていた。あの女の子。彼女は私たちにけっして話さなかった――そして彼女は彼女を思い出すことの背後になにもないものを残した。

5-06-C「なめらか訳」

❶ブリル夫人は子供たちがかわいそうでした。

❷「彼女は石のような心を持っていたのよ，あの人は。私たちには何にも話そうとはしなかったし――それに思い出になるものは何も残さなかったわ。

❸ She wasn't much to look at, was she?

❹ Perhaps it's better she's away.

❺ Now, where's your nightdress, Jane?

❻ And what's this?' and she picked up from the bed a small parcel.

5-06-B「ガチガチ訳」

❸彼女はたくさん見ることがなかったね？

❹たぶん彼女がいったことはよりよかった。

❺今，あなたの寝巻はどこにあるのか，ジェイン？

❻そしてこれは何か？」そして彼女はひとつの小さな包みをベットから持ちあげた。

5-06-C「なめらか訳」

❸そんなにきれいでもなかったでしょ？

❹たぶんいなくなってよかったんですよ。

❺さあ，あなたの寝巻はどこ，ジェイン？

❻あらこれ何？」そう言ってブリルさんは小さな包みをベッドからつまみ上げました。

5-06-A

❼'What is it? Give it to me—give it to me,' said Jane in great excitement.

❽ Michael came to stand beside her.

❾ Jane tore the brown paper off, and said, 'Look, it's her picture.'

5-06-B「ガチガチ訳」

❼「それは何か？ 私にあたえろ，私にあたえろ」ジェインが大きな興奮の中で言った。

❽マイケルが彼女の横に立つためにきた。

❾ジェインは茶色の紙を取り上げた。そして言った。「見ろ，それは彼女の絵だ」

5-06-C「なめらか訳」

❼「何なの？ 私にちょうだい――私にちょうだい」とジェインはとても興奮して言いました。

❽マイケルはジェインのそばにやってきて立ちました。

❾ジェインは茶色の紙をやぶいて，言いました。「見て，彼女の絵だわ」

❿ It was a painting of Mary Poppins.

⓫ And with it was a letter.

⓬ Jane read it aloud:

5-06-B「ガチガチ訳」

❿それはメアリー・ポピンズの絵だった。

⓫そしてそれは手紙といっしょに。

⓬ジェインはそれを声を出して読んだ。

5-06-C「なめらか訳」

❿それはメアリー・ポピンズの絵でした。

⓫そしてそれに手紙が**そえられて**ありました。

⓬ジェインは声を出して読みました。

5-06-A

⑬ Dear Jane,
Michael had the postcards. This picture is for you. Au revoir.
Mary Poppins

Au revoir.
「オ・ルヴォアール」と読む。フランス語で「さようなら」の意味。英語国民も外来語として普通に使うようになっている。voir（ヴォアール）が「見る」「会う」という意味で，「くりかえし」を表わす接頭語 re－ がついて，「また会いましょう」が元々の意味。

⑭‘Mrs. Brill,’ Jane cried, ‘what does “au revoir” mean?’

⑮‘Well, now, let me see,’ said Mrs. Brill slowly.

5-06-B「ガチガチ訳」

⓭親愛なるジェイン
マイケルが絵ハガキを持っている。この絵はあなたに。オールヴォアール
メアリー・ポピンズ

⓮「ブリル夫人」ジェインが叫んだ。「“オールヴォアール”は何を意味するのか」

⓯「ええ，今，私に見せろ」ブリル夫人がゆっくりと言った。

5-06-C「なめらか訳」

⓭親愛なるジェイン
マイケルにはハガキをあげました。この絵はあなたにあげます。オールヴォアール
メアリー・ポピンズ

⓮「ブリルさん」ジェインが叫びました。「“オールヴォアール”て何のこと？」

⓯「そうね，うん，ええっとね」とブリル夫人はゆっくりと言いました。

⑯'I don't know these foreign languages.

⑰ Does it mean good-bye? No, no, I'm wrong.

⑱ I think, dear Jane, it means "to meet again."'

⑲ Jane and Michael looked at each other. They understood.

5-06-B「ガチガチ訳」

⑯「私はこの外国の言葉を知らない。

⑰それはサヨナラを意味しているのか？　いいえ，いいえ，私が間違った。

⑱私は思う，親愛なるジェイン，それは“また会うこと”を意味する」

⑲ジェインとマイケルは互いを見た。彼らは理解した。

5-06-C「なめらか訳」

⑯「私はこういう外国語は知らないんですよ。

⑰さよならかしら？　いえいえ，ちがうわね。

⑱私の考えでは，ねえジェイン，これは“また会いましょう”だわ」

⑲ジェインとマイケルは互いに顔を見合わせました。二人にはわかったのです。

## 5-02-D

**あなたらしくないと言えば，**
**あなたに似合わないということ**

**It is not like you to be so nice.** (5-02-A ❾)

It is not like you「あなたらしくない」,「そんなに親切にするなんて」。あるいは「似合わない」でもいいだろう。

## 5-04-D

**mustは話し手の決意が**
**示されるコトバだ**

**'They must see her for the last time.'** (5-04-A ❸)

このmustも話し手の決意を示していて，Let us make them see her「彼女を見させる，見せてやる」の意味。

for the last time「最後の機会だから」。for the first time「はじめて」と形は同じだが，ここの場合のforは理由を示す。したがって，ここは「赤ちゃんたちにもこれが最後だから彼女を見せてあげなくては」となる。

**'Well, she stayed until the wind changed,'** (5-04-A ⓫)

Wellは「それでも」と納得する感じで，「彼女，風が変わるまではいてくれたんだ」。ちょっと意訳になるかもしれないが，ジェインはわりと冷静に感謝の気持ちをもって言っているようなので，I suppose she would stay until the wind changed.といったところかな。

5-05-D

## 日本語の口語に訳せばかなりくだけた口調になる

**It's a terrible thing to do to me....** (5-05-A❺)

to doの後に like that とか such as that をおぎなって，「あんな仕打ちを私にするなんておそろしいことだ」と読んでいい。あるいは，It's a terrible thingにつづめて「なんてことでしょう」でもいいだろう。

**Don't pull at me like that,** (5-05-A❼)

pull「引っぱる」の場合，atをとる。なんで at なのか。これは難しい。まあ，at には「ねらう」「ねらいを定める」という意味があるから，「引っぱる」場合，ちょうど向きは逆だが，相手との関係のあり方としては同形なので，at を使うのかもしれない。しかし，大ざっぱな範囲での見当はつくとしても，完全に説明できるものではないので，あしからず。

**'Mary Poppins is the only person I want in the world!'.** (5-05-A❿)

「メアリー・ポピンズが世界中でぼくが欲しい，ただひとりの人だ！」というわけで，ほとんどそのまま訳しておいたが，口語の感じからすると，「メアリー・ポピンズがいなきゃいやだ！」ということ。翻訳だったら，このへんまでもってこないと，お話にならないところだ。

## Point 45

# 「耳から聞く生まの英語」が一番むずかしい。この苦しさを，どうやって超えるか。

私たちが外国で暮らすチャンスは，これからもたいへん多くなりますね。

外国に行って，私たちが生の英語を耳で聞いていて，一番わかりづらいのは，おそらく，あたりまえのごくふつうの英語なのです。とりわけ，私たち日本からの観光客がアメリカやイギリスの商店街で買いものをしたりするときの，店員たちのしゃべる英語が一番聞きとりにくいのです。本当は，「いらっしゃいませ。何にしましょう」「今日は○○が安いよ」　程度の英語なのです。ところが，これを聞きとるのが，案外一番むずかしいのです。あるいは，駅の構内で，流れるアナウンスメントの英語や，駅員たちのしゃべる英語が一番，聞きづらいと思います。外国人旅行者にとっては，切実な問題です。

とりわけイギリスの下町の庶民の英語である「コツクニー・イングリッシュ」(Cookney English) の分かりづらさといったら，並みたいていのものではありませんでした。紙に書いてもらうと，たいしたことはしゃべっていないの

ですが，それを耳元でペラペラやられると，聞きとれなくて困ってしまいます。

私は，自分の友人のイギリス人，アメリカ人，カナダ人，オーストラリア人のしゃべる英語なら，よく分かるのです。それは，向こうもこちらの理解力に合わせて，ゆっくりはっきり話してくれるからです。とくに日本国内で英語で話す分には，向こうが，「日本では外国人」という遠慮もあって，ゆっくりと話してくれます。

ところが，手加減なしに，話されると大変です。ですから，外国旅行に出たら，私たちは，商店の店員たちの話す英語，駅員の話す英語が聞き取れる訓練からすべきでしょう。そのためには，本当に，しゃべられているごくふつうのコトバとしての英語を勉強すべきなのです。
本当は，日本人英語学者たちが，もっと正直に謙虚になって，それらの「本当のごくふつうの英語」を拾い集めて，分析して，日本語との対応関係をつけながら，集大成すべきなのです。ホントウに生で使われている日常生活表現というのは，どこの国の言葉であろうと，そんなにたくさんの量はないのです。日本語で言えば，「あれをとって」「これをこうしたい」とか，「○○は，おもしろかったね」とか「私，あいつ，キライなの」とか，その程度のコトバのはずなのです。

ところが，だからといって，それらの本当の生の英語は，そこらに出回っている強迫商品である英語カセットテープや英語学習ビデオのような内容とはちがうのです。あんなものは，たいていはクズです。中に，時々，これはいいと

いうのが，ありますが。

リンガフォン社の語学テープの時代は過ぎました。あれの模造品の山などに期待してはいけません。そうだとすれば，真に開発すべきは，「耳から入って，聞いて慣れる」ための英語教材は，どのようなものであるべきか，を，今，私たちは，本気で考える時期にきています。英語世界のお店の人や駅員さんのしゃべっている英語が分かるようになることが英語の勉強の出発点であり最終地点だからです。むずかしい英文をあれこれ読解するよりも，実はそっちの方が，結局むずかしいのです。

## 文庫版〈完結編〉のためのあとがき

私たち日本人は一世紀半にわたり，英語と格闘し続けてきました。ところが，この本で解説してきたように，この国では，英語の学び方の基礎の基礎の部が全くできていないために，TOEFL（アメリカの大学に入るために必要な英語力考査）スコアでも，依然としてアジア諸国と比較してでさえ底辺付近をさまよっています。情けない話ですね。

前編と，この完結編の二冊を読了した皆さんは，実は，日本の公立高校の英語教師の一般水準を，超えてしまっているのです。自信を持って下さい。そして，私の本から得た知恵と理解を生かして下さい。そして，たとえ，みなさんが通った高校の英語の先生から「それは，ちがうよ」と反対されてもひるまず，自分の理解を，正直に，力強く，はっきりと述べて下さい。そのような，あなた達一人ひとりの行動が，日本の英語教育の水準を，おし上げてゆくのです。

最後まで私の本を読んでくれて，どうもありがとう。このあとは，同じく私の英語勉強の本である『英文法の謎を解く』（ちくま新書）シリーズに進んで下さい。私に何か質問したいことがあったら，どうぞインターネットのGZE03120@nifty.ne.jpに，メールを下さい。

2000年3月

副島隆彦

本書は、一九八五年十月に小社より刊行された別冊宝島４９号『道具としての英語　基礎の基礎』を前編の一、二章に引きつづき三、四、五章を改訂した完結編です。

道具としての英語　基礎の基礎〈完結編〉

（どうぐとしてのえいご　きそのきそ　かんけつへん）

2000年4月8日　第1刷発行

編著者　副島隆彦
発行人　蓮見清一
発行所　株式会社 宝島社
〒102-8388 東京都千代田区一番町25
電話：営業部 03(3234)4621　編集部 03(3234)3692
振替：00170-1-170829 (株)宝島社
印刷・製本　株式会社廣済堂

乱丁・落丁本はお取替いたします
Copyright © 2000 by Takahiko Soejima
First published 1985 by Takarajimasha, Inc.
All rights reserved
Printed and bound in Japan
ISBN4-7966-1772-8

# 「別冊宝島」通算500号記念!!
# キャッチコピー大募集

知的好奇心をくすぐるムック、実用ムックとして好評のロングセラー「別冊宝島」は、お陰を持ちまして、3月25日発売の『マンガ批評2000 コミック雑誌なんかいらない』にて通算500号を迎えます。

この「別冊宝島」通算500号を記念して、『キャッチコピー大賞』を実施いたします。創刊以来、もっとも読まれているムックとしての地位を保ち続けている「別冊宝島」に、内容を超えるキャッチコピーをあなたのひらめきで創ってください。

大賞として選考された作品には、賞金30万円を贈呈。また、入選として5作品には、1万円分の図書券をお贈りいたします。

■実施期間 2000年3月25日～4月30日(当日必着)
■応募規定 未発表のものに限る
■応募資格 不問(プロ・アマ問わず)
■ 賞 大賞/1作品 賞金30万円 入選/5作品 賞金図書券1万円分
■発 表 受賞者にのみ、個別に通知。(決定は5月末頃、なお該当者なしの場合もあり)
■審査方法 「別冊宝島」編集部、複数の現役コピーライターが審査
■入選作品の使用について 詳細は、受賞者と相談のうえ決定
■著作権の帰属について 弊社に帰属
■応募要項 ❶はがきに応募作品を1点と、氏名、年齢、職業、郵便番号、住所、電話番号を明記して、下記まで郵送。
❷弊社のHP(宝島チャンネル http://www.takarajimasha.co.jp/)の、「キャッチコピー応募」ページにアクセスし、応募作品と必要事項を入力。
■宛 先 〒102-8408 東京都千代田区一番町25番地
(株)宝島社「別冊宝島」キャッチコピー係
■この件に関するお問い合わせ先 (株)宝島社広報宣伝部/TEL 03-3265-4591

## ご応募お待ちしております!!

宝島社文庫

「おたく」の誕生!!
別冊宝島編集部 編

怪しい広告
別冊宝島編集部 編

「夢分析」マニュアル
別冊宝島編集部 編

宇宙とは!?
古今東西「宇宙論」のすべて
別冊宝島編集部 編

セックスというお仕事
別冊宝島編集部 編

江戸の真実
別冊宝島編集部 編

お医者さま
別冊宝島編集部 編

愛嬌一本締め
極道の世界　本日も反省の色なしちゃ
溝下秀男

「子育て」崩壊!
別冊宝島編集部 編

VOW全書④
宝島編集部 編

Cの福音
楡 周平

猛禽の宴
楡 周平

この本のテキストは『メアリー・ポピンズ』の楽しい物語。たったの900語で書かれています。辞書を必要とするような単語は使われていません。それなのに、中学、高校の英語教育では、この物語をきちんと読めるようにはならないのです。それは、どうしてなのでしょうか？　この本を読めば、まさに目からウロコが落ちます。読者から反響を得た1・2章を改訂した前文庫版に続く必読の完結編。

9784796617727

1920182005718

定価：本体571円＋税

ISBN4-7966-1772-8
C0182 ¥571E